

消 防 年 報

平 成 2 2 年 版

小 千 谷 市 消 防 本 部

はじめに

小千谷地域の消防組織については、昭和54年4月1日に小千谷市及び川口町の1市1町で小千谷市川口町衛生消防組合として発足し、昭和63年4月1日山古志村の加入により小千谷地域広域事務組合の「小千谷地域消防本部・消防署」として広域消防に取り組んできました。

その後、平成17年に山古志村、平成22年に川口町が長岡市へ合併し、平成22年3月30日をもって小千谷地域広域事務組合は解散し、31日から小千谷市が事務を引き継ぐとともに長岡市川口地域（旧川口町）の消防事務を受託し、「小千谷市消防本部・消防署」として現在に至っています。

この消防年報は、消防本部管内の消防概況及び平成22年中における消防業務に関する諸業務について収録することにより、消防行政を推進する資料として活用するとともに、広く一般に紹介し、消防行政に対する理解を深めていただくために作成したものです。

本書により消防の現状をご理解いただくとともに、今後とも一層の御支援と御協力を賜れば幸いに存じます。

なお、火災・救急・気象などについては、平成22年1月から12月までの1年間の統計であります。予算、施設及び人員等は会計年度、消防現勢については平成23年4月1日現在としました。

目 次

総務関係

1	小千谷市消防の沿革	1
2	小千谷市消防管轄区域の位置・地勢	4
3	管轄区域の情勢	
(1)	人口・世帯数	5
(2)	面積・広ぼう	5
(3)	市街地・準市街地等の状況	5
(4)	消防職員及びポンプ車の人口・世帯に対する割合	6
4	消防庁舎の現況	6
5	小千谷市消防本部・署の機構	7
6	歴代消防長・署長	8
7	階級別消防職員状況	9
8	階級別消防職員年齢表	9
9	消防力の整備指針と現況	10
10	消防予算	
(1)	一般会計に対する割合	11
(2)	人口・世帯に対する割合	12
(3)	平成23年度予算状況	12
(4)	一般会計との比・人口世帯との比	12
11	消防財産	13

予防関係

1	防火対象物の現況、防火管理者選任状況	14
2	建築同意事務処理状況	
(1)	過去5年間の処理状況	16
(2)	月別処理状況	16
(3)	地域別・構造別	16
(4)	用途別・工事別	17
3	中高層建築物の現況	18
4	危険物製造所等の過去5年間の地区別施設数及び 現年度指定数量別施設数	19
5	危険物製造所等の年間事務処理状況	20
6	試験・測定資器材	21

7	火災概要表	2 2
8	過去 5 年間の火災発生状況	2 5
9	過去 5 年間の月別火災発生状況	2 5

警防関係

1	火災・風水害等出動状況	2 6
2	消防水利	2 7
3	消防資器材装備状況	2 8
4	水防資材備蓄状況	2 8
5	消防車両一覧	2 9
6	消防通信施設	
	(1) 通信指令施設	3 0
	(2) 無線設備	3 0
	(3) 非常用通信設備	3 3
	(4) 1 1 9 回線による火災・救急等受信回数	3 4
7	気象観測	
	(1) 気象に関する警報・注意報等の受信状況一覧	3 5
	(2) 気象統計	3 6

救急救助関係

救急関係

1	事故種別出場状況	4 1
2	事故種別出場比率	4 2
3	地区別出場状況	4 3
4	時間別救急出場状況	4 4
5	曜日別救急出場状況	4 5
6	月別出場状況	4 6
7	現場到着所要時間別出場件数の状況	4 7
8	事故種別搬送人員収容所要時間の状況	4 8
9	年齢別・程度別・事故種別搬送人員	4 9
1 0	過去 5 年間の事故種別出場状況	5 0
1 1	過去 1 0 年間の救急出場件数の推移	5 1
1 2	搬送人員別医療機関問合せ回数	5 1
1 3	転送回数別搬送人員	5 1
1 4	転送理由別件数	5 1
1 5	事故種別収容医療機関状況	5 2
1 6	署所別救急出場状況	5 3

1 7	救急出場覚知状況	5 3
1 8	搬送傷病者居住地状況	5 3
1 9	発生場所別搬送人員	5 3
2 0	応急処置等実施状況	5 4
2 1	救急資器材	5 5
2 2	訓練用資器材	5 5

救助関係

2 3	事故種別、発生場所別救助出動状況	5 6
2 4	事故種別、発生場所別救助活動状況	5 6
2 5	事故種別、発生場所別救助人員状況	5 6
2 6	救助資機材	5 7

消防団関係

1	消防団組織図	5 9
2	歴代消防団長	6 0
3	消防団の編成	6 1
4	消防団員の数	6 1
5	消防団員の階級別報酬	6 1
6	消防団員の費用弁償	6 1
7	消防車両・小型動力ポンプ配置一覧	6 2
8	消防団無線設備	6 3
9	消防器具置場等施設の数	6 5
1 0	平成 2 2 年度中の主な工事等の状況	6 5

協力団体

1	小千谷地域防火管理協会	6 7
2	(財)新潟県危険物安全協会小千谷地区支会	6 8
3	小千谷市幼少年防火委員会	6 9
4	小千谷市婦人防火クラブ連絡協議会	7 1

總務關係

1 小千谷市消防の沿革

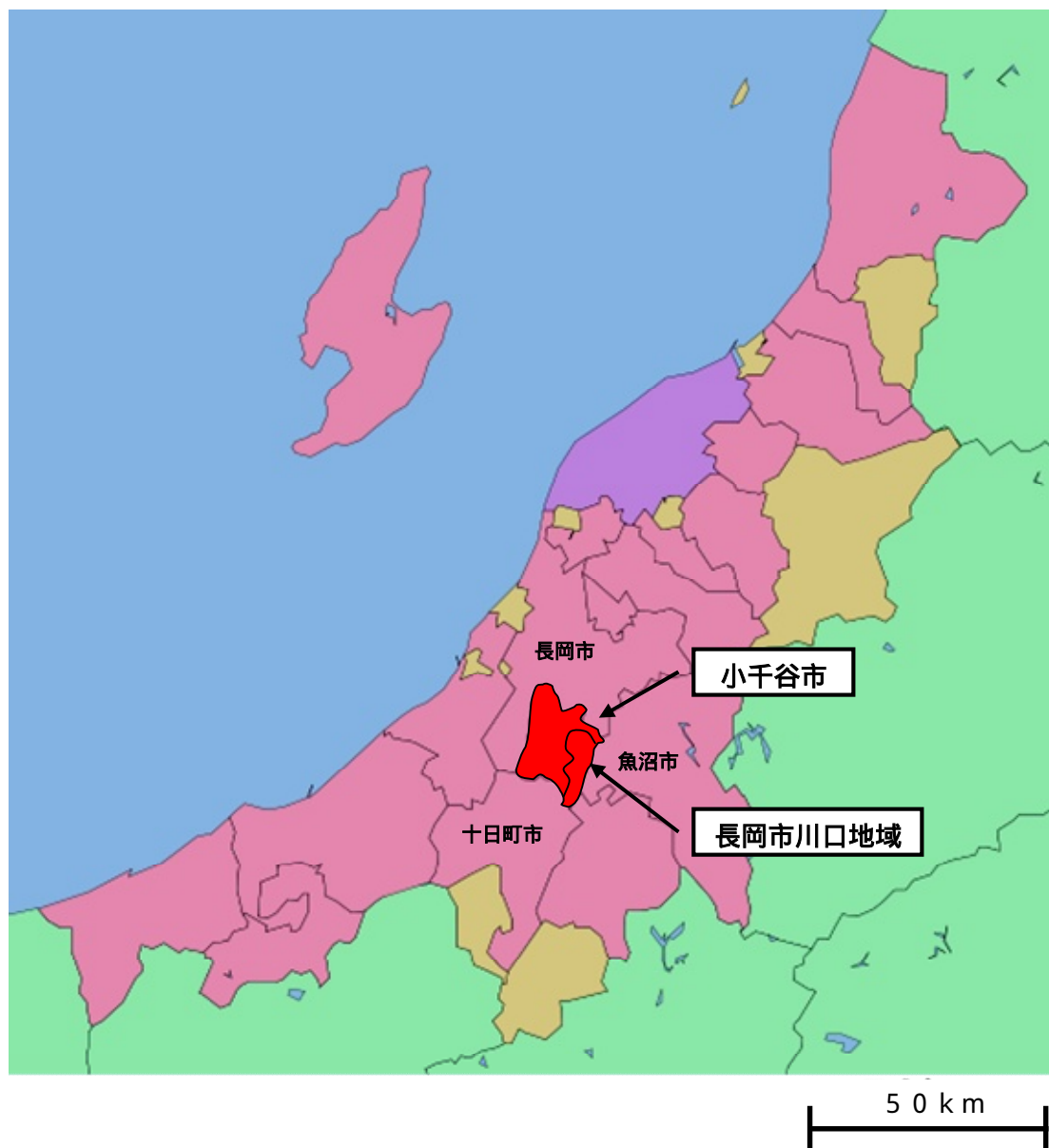
年	月	記	事
昭和	24年 8月	小千谷町役場職員による常備消防隊発足	
	26年 1月	本町・町役場に隣接し消防庁舎完成	
	10月	専任職員 7 名による常備消防本部を設立	
	29年 3月	小千谷町、城川村、千田村の合併により小千谷市制施行	
	32年 10月	消防無線が初めて導入される	
	34年 8月	小千谷市消防本部・消防署の設立 (1 6 名)	
	35年 6月	危険物安全協会北魚沼地区支会発足	
	36年 5月	第 1 2 回新潟県消防大会開催	
	40年 7月	小千谷市防火管理協会発足	
	10月	既存庁舎が手狭となり、市民体育館下に仮移転する	
	41年 7月	専用車による本格的な救急業務を開始	
	44年 7月	総員 3 6 名となり、一応の増員計画を終了する	
	11月	化学車配備	
	45年 10月	第 2 回全国消防操法大会に小千谷市消防団が、「小型ポンプの部」に出場	
	47年 3月	城内 1 丁目に消防庁舎完成	
	49年 9月	2 B 型救急車配備、救急車 2 台となり救急体制が充実する	
	10月	2 4 m 級はしご車配備	
	50年 4月	職員が 4 名増員され、定員 4 0 名となる	
	52年 11月	救助工作車配備	
	53年 11月	通信指令装置導入	
	54年 4月	消防業務が小千谷市川口町衛生消防組合として広域化され新体制で発足 (定員 5 2 名)	
	55年 4月	川口出張所開設 (定員 1 1 名)	
	56年 4月	消防長が専任制となる	
	10月	小千谷地域少年消防クラブ運営指導協議会発足	
	12月	水槽付消防ポンプ自動車 (3 , 0 0 0) 配備	
	57年 2月	小千谷市消防団が日本消防協会より「纏」を授賞	
	3月	高速自動車国道関越自動車道 (長岡インター ~ 越後川口インター間) 供用開始	
	4月	高速救急隊設置により 4 名増員となる	
	7月	小千谷地域少年婦人防火委員会発足	
	12月	高速自動車国道関越自動車道 (長岡インター ~ 小出インター間) 供用開始	
	58年 8月	第 3 4 回新潟県消防大会開催 (会場 小千谷小学校)	
	59年 8月	2 B 型救急車 (4 W D) 導入 (日本赤十字社寄贈)	

年・月	記 事
59年 9月	第1回消防フェスティバル開催
60年 11月	小千谷地域防火管理協会発足20周年記念、防火講演会の開催(サンプラザ)
62年 2月	化学消防ポンプ自動車 型更新
10月	小千谷市川口町衛生消防組合消防庁舎、訓練塔を新築移転
昭和 63年 4月	第3回全国婦人消防操法大会において、「芋坂・時之島婦人消防隊」が優勝する 山古志村の加入により、小千谷地域広域事務組合と名称変更する(定員66名)
11月	山古志出張所開設(職員9名)
平成 元年 4月	職員4名増員され65名となる
2年 10月	第12回全国消防操法大会に小千谷市消防団が「小型ポンプの部」に出場する
4年 4月	職員2名増員され67名となる
10月	第13回全国消防操法大会に小千谷市消防団が「ポンプ車の部」に出場し、新潟県初の優良賞を受賞する
5年 3月	救助工作車 型(伸縮式照明装置付)更新
4月	職員2名増員され69名となる
6年 4月	職員2名増員され71名となる
12月	川口出張所消防ポンプ自動車CD- 型更新
7年 10月	第11回全国婦人消防操法大会において「上ノ山婦人消防隊」が優良賞を受賞する
11月	小千谷地域防火管理協会設立30周年記念、防火講演会の開催(市民会館)
8年 3月	37m級はしご車更新
9月	水槽付消防ポンプ自動車 型導入(日本損害保険協会寄贈)
11月	高規格救急車配備
12月	蒲原沢土石流災害新潟県応援派遣隊、第1次隊及び第5次隊として、それぞれ5名を派遣
9年 7月	山古志出張所救急車更新(日本赤十字社寄贈)
10月	消防ポンプ自動車CD- 型更新
10年 9月	小千谷市総合防災訓練実施
11年 7月	川口出張所高規格救急車配備
12年 8月	2B型救急車(4WD)導入(日本赤十字社寄贈)
14年 3月	川口出張所訓練塔更新
4月	新潟県消防防災航空隊へ1名派遣(2ヵ年間)
6月	信濃川・魚野川水防演習参加(高梨地先)
15年 2月	消防本部融雪施設(さく井)工事

年・月	記 事
平成 15年 3月	消防緊急通信指令装置導入
9月	新潟県・小千谷市合同総合防災訓練実施
11月	高規格救急車(救急1号車)更新 緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練参加(新潟市)
12月	地域省エネルギー普及促進事業による消防庁舎空調・照明工事
平成 16年 7月	7.13水害が発生し、新潟県広域応援隊として、救助隊(ボート隊延べ16名)を中之島町へ、救急隊(延べ9名)を見附市及び三条市へ派遣 管内に7.16水害が発生
8月	指令広報車(指令5号車)更新
10月	23日川口町を震源とする「新潟県中越大震災」が発生、新潟県広域応援隊及び緊急消防援助隊を受援
平成 17年 4月	山古志村が長岡市への合併に伴い組合を離脱、山古志出張所及び備品等に移管し職員8名が長岡市へ移籍(定員63名)
11月	携帯119番直接受信整備工事
平成 18年 2月	小千谷市消防団に司令車配備(日本消防協会寄贈)
6月	水槽付消防用自動二輪車(ミストドラゴン)2台配備(日本機械工業(株)寄贈)
11月	川口出張所訓練塔災害復旧工事
平成 19年 1月	消防庁舎車庫増築工事
2月	消防ポンプ自動車(災害対応型)配備
7月	新潟県中越沖地震発生、新潟県広域応援隊として消防隊(延べ25名)及び救急隊(延べ6名)を柏崎市へ派遣
9月	資機材運搬車(指令2号車)更新
平成 20年 9月	消防庁舎アスベスト除去工事
12月	本署救急車(救急2号車)更新(日本赤十字社寄贈)
平成 21年 2月	化学消防ポンプ自動車(化学1号車)更新
平成 22年 3月	川口町と長岡市の合併に伴い、小千谷地域広域事務組合を解散 小千谷市消防本部・消防署に組織及び名称変更 長岡市川口地域の消防事務を受託
9月	消防緊急通信指令装置改修工事
12月	救助工作車 型更新
平成 23年 3月	11日宮城県沖を震源とする「東北地方太平洋沖地震」が発生 緊急消防援助隊として消火部隊(延べ55名)及び後方支援部隊(延べ20名)を宮城県石巻市へ派遣

2 小千谷市消防本部の管轄区域の位置・地勢

当消防本部は、新潟県の中央部やや南に位置し、管轄区域は、小千谷市及び長岡市川口地域（旧川口町：長岡市から消防事務を受託）です。



	方位	経緯度
東 経	極東	138度 54分
	極西	138度 44分
北 緯	極北	37度 23分
	極南	37度 12分

3 管轄区域の情勢

(1) 人口・世帯数

平成23.4.1 現在

地域区分	平成22年国勢調査		平成23年3月末住民基本台帳	
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数
小千谷市	38,616	12,264	39,085	12,630
長岡市川口地域	4,865	1,426	5,014	1,505
合 計	43,481	13,690	44,099	14,135

地域区分	平成23年3月末現在人口		
	人 口	外国人登録	
小千谷市	39,273	39,085	188
長岡市川口地域	5,036	5,014	22
合 計	44,309	44,099	210

(2) 面積・広ぼう

平成23.4.1 現在

地域区分	面積 (km ²)	広 ば う (km)		周囲 (km)	標 高 (m)	
		東 西	南 北		最 高	最 低
		小千谷市	155.12		17.21	20.01
長岡市川口地域	50.03	4.10	15.00	49.0	433.5	50
合 計	205.15	-	-	-	-	-

(3) 市街地・準市街地等の状況

平成23.4.1 現在

地域区分	市 街 地 域 数	準 市 街 地 地 域 数			そ の 他 の 地 域 数
		5,000人以上 10,000人未満	3,000人以上 5,000人未満	1,000人以上 3,000人未満	
		小千谷市	1	1	
長岡市川口地域	-	-	1	17	
合 計	1	1	4	63	

(4) 消防職員及びポンプ車の人口・世帯に対する割合

平成23.4.1 現在

区 分	消防職員 1 名当り			消防ポンプ自動車 1 台当り		
	人 口	世 帯 数	面 積	人 口	世 帯 数	面 積
	人	世帯	k m ²	人	世帯	k m ²
	7 1 5	2 2 8	3 . 3	8 , 8 6 2	2 , 8 2 7	4 1 . 0
職員・ポンプ車数	6 2 名			5 台		

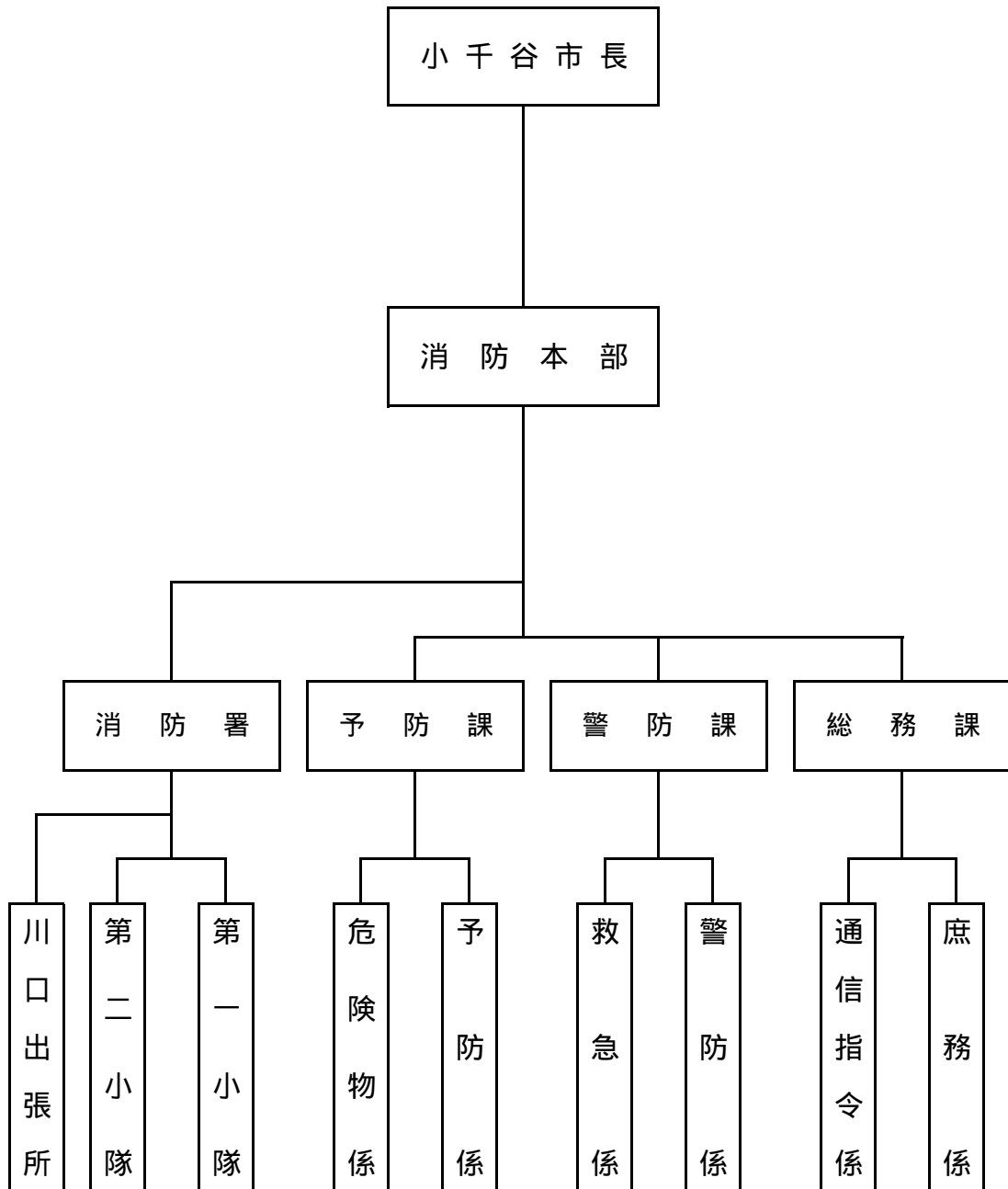
(小数点以下は四捨五入)

4 消防庁舎の現況

区 分	所 在 地	構 造	設置年月日	面 積 (m ²)		
				敷 地	建 築	延
消防本部 消 防 署	小千谷市城内 3 丁目 1 番 9 号	鉄筋 3 階 コン クリ ート	昭和62年 10月 1日	3,701.21	739.09	1,609.11
川口出張所 (長岡市貸与)	長岡市 川口牛ヶ島 1 6 0 番地 3	鉄筋 2 階 コン クリ ート	昭和55年 4月 1日	662.00	96.00	194.76

5 小千谷市消防本部・署の機構

平成23.4.1 現在



6 歴代消防長・署長

平成23.4.1 現在

区 分	氏 名	在 任 期 間	備 考
消 防 長	初 位 下 松五郎	S 29 . 3 . 10 ~ S 30 . 4 . 12	市 長 兼 務
	2 位 下 松五郎	S 30 . 5 . 1 ~ S 34 . 4 . 20	〃
	3 佐 藤 武	S 34 . 5 . 1 ~ S 38 . 4 . 29	〃
	4 佐 藤 武	S 38 . 4 . 30 ~ S 42 . 4 . 29	〃
	5 佐 藤 武	S 42 . 4 . 30 ~ S 46 . 4 . 29	〃
	6 佐 藤 武	S 46 . 4 . 30 ~ S 50 . 4 . 29	〃
	7 星 野 行 男	S 50 . 4 . 30 ~ S 54 . 4 . 29	〃
	8 星 野 行 男	S 54 . 4 . 30 ~ S 56 . 3 . 31	〃
	9 若 井 保	S 56 . 4 . 1 ~ S 60 . 3 . 31	
	10 石 坂 和 男	S 60 . 4 . 1 ~ S 61 . 12 . 31	
	11 風 間 久 司	S 62 . 1 . 1 ~ S 62 . 4 . 30	(消防長心得)
	12 羽 鳥 昌 治	S 62 . 5 . 1 ~ H 2 . 3 . 31	
	13 山 口 恒	H 2 . 4 . 1 ~ H 4 . 3 . 31	
	14 風 間 久 司	H 4 . 4 . 1 ~ H 11 . 3 . 31	
	15 本 田 晃 一	H 11 . 4 . 1 ~ H 13 . 3 . 31	
	16 金 箱 貞 夫	H 13 . 4 . 1 ~ H 15 . 3 . 31	
	17 中 村 繁 一	H 15 . 4 . 1 ~ H 17 . 3 . 31	
	18 横 山 貴 吉	H 17 . 4 . 1 ~ H 20 . 3 . 31	
	19 風 間 隆 一	H 20 . 4 . 1 ~ H 21 . 3 . 31	
	20 瀬 沼 賢 一	H 21 . 4 . 1 ~ 現在に至る	
署 長	初 山 崎 留 吉	S 34 . 8 . 1 ~ S 35 . 3 . 31	
	2 平 沢 恭 栄	S 35 . 4 . 1 ~ S 40 . 9 . 30	
	3 和 田 耕 作	S 40 . 10 . 1 ~ S 48 . 3 . 31	
	4 岡 忠	S 48 . 4 . 1 ~ S 51 . 3 . 31	
	5 和 田 明	S 51 . 4 . 1 ~ S 56 . 3 . 31	
	6 若 井 保	S 56 . 4 . 1 ~ S 58 . 6 . 30	
	7 風 間 久 司	S 58 . 7 . 1 ~ H 2 . 3 . 31	
	8 本 田 晃 一	H 2 . 4 . 1 ~ H 11 . 3 . 31	
	9 西 脇 英 郎	H 11 . 4 . 1 ~ H 16 . 3 . 31	
	10 篠 田 敏 治	H 16 . 4 . 1 ~ H 17 . 3 . 31	
	11 風 間 隆 一	H 17 . 4 . 1 ~ H 20 . 3 . 31	
	12 安 藤 高 志	H 20 . 4 . 1 ~ 現在に至る	

7 階級別消防職員状況

平成23.4.1 現在
(条例定数 63 人)

階級 区分	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防 士	合計
消防本部(署)	1	6	21	6	13	4	51
川口出張所		1	5	3	1	1	11
合計	1	7	26	9	14	5	62

8 階級別消防職員年齢表

平成23.4.1 現在

階級 区分	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防 士	合計
20才以下							
21～25才						4	4
26～30才					10	1	11
31～35才				2	4		6
36～40才			3	7			10
41～45才			7				7
46～50才			7				7
51～55才		7	9				16
56才以上	1						1
計	1	7	26	9	14	5	62
平均年齢	59.0	54.3	46.5	37.0	29.3	23.8	40.5

(少数点第 2 位以下四捨五入)

9 消防力の整備指針と現況

平成23.4.1 現在

		国 基準台数 (台)	市町村 基準台数 (台)	現有台数 (台)	市町村 基準人員 (人)	現有人員 (人)
消防ポンプ自動車 (第4条)	消防隊員 (第29条) (第30条)	2	1	1	30	18
消防ポンプ自動車 (第7条)		-	1	1	12	10
はしご自動車 (第9条)		1	1	1	消防ポン プ自動車	-
化学消防車 (第10条)		2	2	2	(第4条) 乗換運用	-
特殊車等 (第18条)		-	2	2	乗換運用	-
救急自動車 (第15条)	救急隊員 (第30条)	2	2	2	9	10
救助工作車 (第16条)	救助隊員 (第31条)	1	1	1	15	8
指揮車 (第17条)	指揮隊員 (第32条)	1	1	1	9	4
非常用消防自動車等 (第19条)		-	3	3	-	-
非常用救急自動車 (第19条)		1	1	1	-	-
通信員 (第33条)		-	-	-	6	6
予防要員 (第34条)		-	-	-	6	1
庶務の処理等の人員 (第36条)		-	-	-	7	5
合 計		10	15	15	94	62

10 消防予算

(1) 一般会計に対する割合

小千谷市

(単位：千円)

年度別	一般会計 決算額	消防費 決算額	比率 %	消 防 費 内 訳				
				常 備 消防費	非常備 消防費	消 防 施設費	水防費	防災費
17	24,047,060	593,582	2.5	(478,654)	85,896	20,991	2,422	5,617
18	25,360,441	627,154	2.5	(485,654)	92,643	33,756	809	14,292
19	16,469,065	629,693	3.8	(477,812)	94,723	39,722	526	16,910
20	17,117,356	690,480	4.0	(505,921)	85,612	77,422	4,700	16,825
21	21,804,620	617,919	2.8	(480,290)	75,600	44,866	790	16,373

川口町

(単位：千円)

年度別	一般会計 決算額	消防費 決算額	比率 %	消 防 費 内 訳				
				常 備 消防費	非常備 消防費	消 防 施設費	防災費	災 害 対策費
17	9,189,841	139,412	1.5	(105,215)	14,117	13,231	5,792	1,058
18	8,528,795	148,739	1.7	(106,289)	13,343	18,187	10,748	172
19	5,162,665	121,996	2.4	(101,639)	12,894	4,575	2,759	131
20	3,929,651	128,161	3.3	(107,488)	13,264	4,451	2,958	0
21	4,998,047	144,289	2.9	(100,889)	27,076	10,607	5,107	610

(2) 人口 ・ 世帯に対する割合

小千谷市

年度別	消 防 費 決算額(千円)	人 口 に 対 す る 割 合		世 帯 に 対 す る 割 合	
		人 口 (人)	1 人 当 り (円)	世 帯 数	1 世 帯 当 り (円)
17	593,582	40,029	14,829	12,301	48,255
18	627,154	39,913	15,713	12,383	50,646
19	629,693	39,624	15,891	12,525	52,274
20	690,480	39,913	17,300	12,383	55,760
21	617,919	39,624	15,595	12,525	49,335

川口町

年度別	消 防 費 決算額(千円)	人 口 に 対 す る 割 合		世 帯 に 対 す る 割 合	
		人 口 (人)	1 人 当 り (円)	世 帯 数	1 世 帯 当 り (円)
17	139,412	5,306	26,274	1,526	91,358
18	148,739	5,234	28,418	1,522	97,726
19	121,996	5,188	23,516	1,517	80,420
20	128,161	5,234	24,486	1,522	84,206
21	144,289	5,165	27,936	1,517	95,115

(3) 平成23年度予算状況

(単位：千円)

市 区 分	消 防 費					
	合 計	常 備 消防費	非常備 消防費	消 防 施設費	水防費	防災費
小 千 谷 市	982,049	566,069	63,697	33,377	1,461	317,445

(4) 一般会計との比 ・ 人口世帯との比

市 区 分	平成23年度当初予算			消防費予算額の 人口に対する割合		消防費予算額の 世帯に対する割合	
	一般会計 (千円)	消防費 (千円)	比率 (%)	人 口 (人)	1 人 当 り (円)	世 帯 数	1 世 帯 当 り (円)
小 千 谷 市	17,530,000	982,049	5.6	39,085	25,126	12,630	77,755

注 消防予算の表中、常備消防費、比率、人口、世帯に対する割合については、次のように表してあります。

- ・ 常備消防費の()内の数値は、各市町の負担金の金額
- ・ 一般会計に対する消防費の比率は、少数点第2位以下四捨五入
- ・ 人口、世帯数に対する消防費の割合は、少数点以下四捨五入

1 1 消防財産

平成23.4.1 現在

区分	名 称	数 量	備 考
消 防 本 部 ・ 消 防 署	消防ポンプ自動車	3 台	P29参照
	はしご付消防自動車	1 台	〃
	化学消防自動車	1 台	〃
	水槽付消防ポンプ自動車	1 台	〃
	救助工作車	1 台	〃
	高規格救急自動車	3 台	〃
	高度救命処置用機材	3 式	
	災害多目的車	1 台	P29参照
	資器材運搬車	1 台	〃
	防火指導車（軽ワゴン）	1 台	〃
	指令広報車	1 台	〃
	消防広報車	1 台	〃
	水槽付消防用自動二輪車	2 台	〃
	救命ボート	1 隻	
	小型除雪車（スノーロータリー）	1 台	
	超短波無線電話装置（基地局）	2 基	P30参照
	超短波無線電話装置（固定局）	2 基	〃
	消防緊急通信指令システム	1 式	〃
	新発信地表示システム	1 式	
	消防情報支援システム	1 式	
	気象観測装置（事務室設置）	1 式	
	気象観測計（元中子）	1 台	
	雨量観測計（5台分）	1 式	
消火訓練用シミュレーター装置	1 式		
高度救命処置訓練人形	1 体		
緊急時用飲料水精製装置	1 台		
消 防 団	消防ポンプ自動車	8 台	P62参照
	小型動力ポンプ付積載車	3 4 台	〃
	司令車	1 台	〃
	小型動力ポンプ	2 台	〃
	消防無線基地局（消防団専用波）	1 台	P63参照

1 件 1 0 0 万以上の物品及び車両



預防關係

1 防火対象物の現況、防火管理者選任状況

小千谷市

平成23.4.1 現在

防火対象物の別		区 分	防火対象物数	防火管理者選任状況		消 防 計 画 届出数
				必 要 対 象	選 任 届出済	
(1)	イ	映 画 館				
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	31	31	28	22
(2)	イ	キャバレー・カフェー				
	ロ	遊 技 場	4	4	4	4
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗				
(3)	イ	料 理 店	1	1	1	
	ロ	飲 食 店	52	45	38	27
(4)		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト	74	56	38	35
(5)	イ	旅 館 ・ ホ テ ル	16	14	13	13
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅	196	25	20	20
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所	19	7	7	6
	ロ	老人短期入所施設等	6	5	5	5
	ハ	老人デイサービスセンター等	21	18	18	18
	ニ	幼稚園・特別支援学校	3	3	3	3
(7)		小 ・ 中 ・ 高 ・ 各 種 学 校	20	20	20	20
(8)		図 書 館	2	2	1	1
(9)	ロ	公 衆 浴 場	1	1	1	1
(10)		車 両 の 停 車 場	1			
(11)		寺 院	31	26	21	5
(12)	イ	工 場 ・ 作 業 場	286	41	36	32
(13)	イ	自 動 車 車 庫	28			
(14)		倉 庫	187			
(15)		前各項に該当しない事業所	237	93	69	50
(16)	イ	特定防火対象物の存する複合用途防火対象物	195	89	65	52
	ロ	上記(イ)以外の複合用途防火対象物	144	10	8	6
(17)		重 要 文 化 財				
(18)		ア ー ケ ード (5 0 m 以 上)	6			
合 計			1,561	491	396	320

防火対象物数は棟数。7項は施設数。

防火対象物の数		区分	防火対象物数	防火管理者選任状況		消防計画届出数
				必要対象	選任届出済	
(1)	イ	映画館				
	ロ	公会堂・集会場	28	26	25	24
(2)	イ	キャバレー・カフェ				
	ロ	遊技場				
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗				
(3)	イ	料理店				
	ロ	飲食店	13	11	10	10
(4)		百貨店・マーケット	6	4	3	3
(5)	イ	旅館・ホテル	12	6	6	6
	ロ	寄宿舍・共同住宅	18	2	1	1
(6)	イ	病院・診療所	1			
	ロ	老人短期入所施設等	1	1	1	1
	ハ	老人デイサービスセンター等	4	3	3	3
	ニ	幼稚園・特別支援学校				
(7)		小・中・高・各種学校	2	2	2	2
(8)		図書館	1	1	1	
(9)	ロ	公衆浴場	1	1		
(10)		車両の停車場				
(11)		寺院	7	6	3	3
(12)	イ	工場・作業場	34	5	5	5
(13)	イ	自動車車庫	5			
(14)		倉庫	18			
(15)		前各項に該当しない事業所	43	11	11	8
(16)	イ	特定防火対象物の存する複合防火対象物	19	13	11	11
	ロ	上記(イ)以外の複合用途防火対象物	14	3	3	2
(17)		重要文化財				
(18)		アーケード(50m以上)				
合計			227	95	85	79

防火対象物数は棟数。7項は施設数。

2 建築同意事務処理状況

(1) 過去5年間の処理状況

年別 区分	18年	19年	20年	21年	22年
受付数	314	187	166	89	98
同意数	314	187	166	89	98
不同意数	0	0	0	0	0

(2) 月別処理状況

平成22.1.1～12.31

月別 区分	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
受付数	98	2	9	6	14	11	7	12	8	7	15	6	1
同意数	98	2	9	6	14	11	7	12	8	7	15	6	1
不同意数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 地域別・構造別

平成22.1.1～12.31

地域別 構造別	計	第一種低層住居専用	第一種中高層専用	第一種住居専用	第二種住居専用	準住居専用	商業	近隣商業	工業	準工業	その他
木造	39		1	7		1	1	5	1	2	21
鉄骨造	45		1	3			4	2	1		34
準耐火造	9			1		1		2	1	2	2
耐火造	5		2					2	1		
その他											
合計	98		4	11		2	5	11	4	4	57

(4) 用途別・工事別

平成22.1.1～12.31

区 分	計	新 築	改 築	増 築	用途変更	その他
専 用 住 宅	19	11	2	3		3
併 用 住 宅						
共 同 住 宅						
事 務 所	2		1	1		
学 校	2			2		
車 庫						
倉 庫	13	11		2		
工場・作業場	6	4		1	1	
旅館・ホテル						
病院・診療所	1			1		
福祉施設	2	2				
神社・寺院・教会	1					1
集 会 場	1	1				
遊 技 場						
店 舗	5	5				
飲 食 店	3	3				
そ の 他	43	34	2	4		3
合 計	98	71	5	14	1	7

*その他・・・移転、修繕、模様替、許可申請

3 中高層建築物の現況

平成23.4.1 現在

防火対象物の別		区分	計	4階		5階		6階	7階	8階	9階	10階
				小千谷市	長川岡口地域	小千谷市	長川岡口地域	小千谷市	小千谷市	小千谷市	小千谷市	小千谷市
(1)	イ	映画館										
	ロ	公会堂・集会場	1	1								
(2)	イ	キャバレー・カフェー										
	ロ	遊技場										
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗										
(3)	イ	料理店										
	ロ	飲食店	2	1	1							
(4)		百貨店・マーケット										
(5)	イ	旅館・ホテル	6	2	1	2	1					
	ロ	寄宿舍・共同住宅	44	24	4	13	1	1				1
(6)	イ	病院・診療所	1							1		
	ロ	老人短期入所施設等	1			1						
	ハ	老人デイサービスセンター等										
	ニ	幼稚園・特別支援学校										
(7)		小・中・高・各種学校	4	4								
(8)		図書館										
(9)	ロ	公衆浴場										
(10)		車両の停車場										
(11)		寺院										
(12)	イ	工場・作業場	12	6		3		2		1		
(13)	イ	自動車車庫										
(14)		倉庫	1	1								
(15)		前各項に該当しない事業所	8	7	1							
(16)	イ	特定防火対象物の存する複合用途防火対象物	10	6		2		2				
	ロ	上記(イ)以外の複合用途防火対象物	4	3		1						
(17)		重要文化財										
(18)		アーケード(50m以上)										
合計			94	55	7	22	2	5		2		1

4 危険物製造所等の過去5年間の地区別施設数及び現年度指定数量別施設数

平成23.3.31 現在

製造所等別 区分		合計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所					
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯 蔵 所	屋 内 タンク 貯 蔵 所	地 下 タンク 貯 蔵 所	簡 易 タンク 貯 蔵 所	移 動 タンク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所		
年 度 別	平成18年度	小千谷地域 (小千谷市・川口町)	277		25	22	7	92	1	40	7	43			40	
	平成19年度	小千谷市	239		21	26	7	72	1	36	6	34			36	
		川口町	35		3	1		14		4		6			7	
		合計	274		24	27	7	86	1	40	6	40			43	
	平成20年度	小千谷市	211		19	20	6	66	1	35	4	30			30	
		川口町	36		3	1		16		3		6			7	
		合計	247		22	21	6	82	1	38	4	36			37	
	平成21年度	小千谷市	207		18	20	6	65	1	35	4	29			29	
		川口町	33		3	1		14		3		6			6	
		合計	240		21	21	6	79	1	38	4	35			35	
	平成22年度	指定数量別 内訳	小千谷市	207		19	23	6	58	1	36	3	29			32
			長岡市川口地域	32		3	1		14		3		5			6
			合計	239		22	24	6	72	1	39	3	34			38
				5倍以下	100		9	2	1	31	1	38	1	1		16
				5倍を越え10倍以下	62		10	6		26			1	5		14
				10倍を越え50倍以下	42		2	11	5	13		1	1	3		6
				50倍を越え100倍以下	12		1			2				9		
				100倍を越え150倍以下	5			1						4		
				150倍を越え200倍以下	4									4		
			200倍を越え1,000倍以下	8									8			
		1,000倍を越え5,000倍以下	6				4*1							2		
		5,000倍を越え10,000倍以下														
		10,000倍を越えるもの														

*1 準特定屋外タンクを1基含む。

5 危険物製造所等の年間事務処理状況

平成22.4.1～平成23.3.31

製造所等別 区分		合計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯蔵所	屋 内 タンク 貯蔵所	地 下 タンク 貯蔵所	簡 易 タンク 貯蔵所	移 動 タンク 貯蔵所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所
許	設 置	2							1	1				
	変 更	9									4			5
可	移動タンク 貯蔵所の更 常置場所の 変													
	転 出 転 入													
完成 検査	設 置	9		1	2				1	1				4
	変 更	12			1						4			7
廃 止 届		10		1			6			1	1			1

6 試験・測定資器材

平成23.4.1 現在

名 称	規 格	数 量
自 火 報 検 査 器 具	熱、空気管、煙	各 1 式
低 電 圧 試 験 器		1
自 動 接 地 抵 抗 器		1
漏 電 検 出 試 験 器		1
テ ス タ ー		1
炭 化 深 度 計		1
騒 音 計		1
照 度 計	高感度、普通	2
超 音 波 厚 さ 計		1
ガ ス 検 知 器	北 川 式	1
可 燃 性 ガ ス 検 知 器	F M - I C	1
防 災 物 品 性 能 検 査 器		1
温 度 計	表面温度計 1	3
カ メ ラ		3
気 象 観 測 装 置		1
ポ ー タ ー ス モ ー ク	出力10m ³ /分～31m ³ /分	2
レ ー ザ ー レ ン ジ メ ー タ ー	H I L T I P D 3 0	1

7 火災概要表

区 分		22年 (A)	21年 (B)	比較 (A - B)
火 災 件 数		20	25	5
種 別	建 物 火 災	16	11	5
	林 野 火 災	0	5	5
	車 両 火 災	2	2	0
	その他の火災	2	7	5
損 害 額 (千 円)		95,694	14,094	81,600
建 物 焼 損 面 積 (m ²)		1,872.00	367.49	1,504.51
林 野 焼 損 面 積 (a)		0	292	292
死 傷 者	死 亡	1	2	1
	負 傷	1	3	2
り 災 世 帯 数		14	7	7
り 災 者 数		35	18	17

出火原因 焼損区分	内 訳 (平成22.1.1~12.31)													
	たばこ	風呂釜	溶融片	ストーブ	ごみの焼却	枯草焼き	排気管	コンデンサ	放火	ガスコンロ	交通機関内配線	その他	不明	計
全 焼	1			1		1			1				2	6
半 焼													1	1
部 分 焼	1		1					1				1		4
ぼ や		1		1					1	1	1			5
林 野														
車 両							1						1	2
そ の 他					2									2
合 計	2	1	1	2	2	1	1	1	2	1	1	1	4	20

小千谷市

区 分	22年 (A)	21年 (B)	比較 (A - B)	
火 災 件 数	13	20	7	
種 別	建 物 火 災	11	8	3
	林 野 火 災	0	5	5
	車 両 火 災	1	1	0
	その他の火災	1	6	5
損 害 額 (千 円)	17,612	7,071	10,541	
建 物 焼 損 面 積 (m ²)	587.10	113.74	473.36	
林 野 焼 損 面 積 (a)	0	292	292	
死 傷 者	死 亡	1	0	1
	負 傷	1	2	1
り 災 世 帯 数	12	5	7	
り 災 者 数	28	12	16	

出火原因 焼損区分	内 訳 (平成22.1.1 ~ 12.31)											計		
	たばこ	風呂釜	溶融片	不明	ストーブ	ごみの焼却	枯草焼き	コンデンサ	ガスコンロ	その他				
全 焼	1			1	1		1							4
半 焼														
部 分 焼	1		1					1		1				4
ぼ や		1			1				1					3
林 野														
車 両				1										1
そ の 他						1								1
合 計	2	1	1	2	2	1	1	1	1	1				13

長岡市川口地域

区 分	22年 (A)	21年 (B)	比較 (A - B)	
火 災 件 数	7	5	2	
種 別	建 物 火 災	5	3	2
	林 野 火 災	0	0	0
	車 両 火 災	1	1	0
	その他の火災	1	1	0
損 害 額 (千 円)	78,082	7,023	71,059	
建 物 焼 損 面 積 (m ²)	1,284.90	253.75	1,031.15	
林 野 焼 損 面 積 (a)	0	0	0	
死 傷 者	死 亡	0	2	2
	負 傷	0	1	1
り 災 世 帯 数	2	2	0	
り 災 者 数	7	6	1	

出火原因 焼損区分	内 訳 (平成22.1.1 ~ 12.31)												
	ゴミの焼却	排気管	放火	交通機関内配線	不明								計
全 焼	1		1										2
半 焼	1												1
部 分 焼													
ぼ や				1	1								2
林 野													
車 両			1										1
そ の 他		1											1
合 計	2	1	2	1	1								7

8 過去5年間の火災発生状況

区分	火災件数								焼損面積			損害額(千円)					1件当り建物焼損面積(m ²)	1件当り建物損害額(千円)
	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	車両	林野	その他	建物(m ²)	林野(a)	その他(m ²)	合計	建物	車両	林野	その他		
18年	20	2	0	2	3	4	0	9	353	0	882	8,064	6,716	1,246	0	102	50	959
19年	23	2	3	7	5	1	0	5	651	0	2,540	36,086	35,878	180	0	28	38	2,110
20年	21	5	1	1	2	2	1	9	1,182	1	9,590	131,116	130,222	294	23	577	131	12,083
21年	25	3	1	2	5	2	5	7	367	292	15,272	14,094	9,765	1,100	457	567	33	888
22年	20	6	1	3	6	2	0	2	1,872	0	1,388	95,674	87,637	8,043	0	14	117	5,477

少数点以下は四捨五入

9 過去5年間の月別火災発生状況

	18年				19年				20年				21年				22年			
	建物	車両	林野	その他	建物	車両	林野	その他	建物	車両	林野	その他	建物	車両	林野	その他	建物	車両	林野	その他
1月					1	1			1								4			
2月	1				2								2	1				1		
3月					2			1	1	1			2	1			1			
4月	1	1		3	2			3	1		1	4	2		4	5	1			1
5月	1			3	1							5	1		1	2	1	1		1
6月	1								2	1			1							
7月	1			1									2							
8月				1	1			1	1								2			
9月									2											
10月					1				1								2			
11月		2			4												3			
12月			3		1	3							1				2			
小計	7	4		9	17	1		5	9	2	1	9	11	2	5	7	16	2		2
合計	20				23				21				25				20			

敬防關係

1 火災・風水害等出動状況

平成22.1.1～12.31

区 分 種 別	消 防 署 川口出張所		小 千 谷 市 消 防 団		川 口 町 消 防 団	
	出 動 回 数	延 人 員	出 動 回 数	延 人 員	出 動 回 数	延 人 員
火 災	20	291	7	336	1	40
救 急 業 務	1,390	4,380				
救 助 活 動	39	226				
風水害等の災害						
演 習 ・ 訓 練	126	682	5	561	8	138
広 報 ・ 指 導	256	817	113	811		
警 防 調 査	146	412				
原 因 調 査	33	139				
特 別 警 戒	31	144	3	485		
捜 索	8	117	2	71		
予 防 査 察	137	389				
誤 報 等	1	5				
そ の 他	1,349	2,562			7	81
合 計	3,536	10,164	130	2,264	16	259

- 1 警戒出動の出動回数・延人員については「その他」に含んでいます。
(警戒出動～自動火災報知機の誤作動による出動、未確認情報による出動、道路上及び河川等に流出した油の処理等)
- 2 川口町消防団は、長岡市への編入に伴い平成22年1月1日～3月30日までの数値。

2 消防水利

平成23.4.1 現在

水利 管轄区分	公設水利								
	消火栓			防火水槽・貯水槽					
	地上式	地下式	計	100m ³ 以上	60m ³ 以上 100m ³ 未満	40m ³ 以上 60m ³ 未満	20m ³ 以上 40m ³ 未満	20m ³ 未満	計
小千谷市	433	327	760	2	13	215	70	59	359
	299	249	548	2	13	215	3	1	234
長岡市 川口地域	93	11	104		2	102	8		112
	73	7	80		2	102	2		106
計	526	338	864	2	15	317	78	59	471
	372	256	628	2	15	317	5	1	340

消火栓、防火水槽及び貯水槽の数を計上したもの。

上段は行政財産数、下段は消防水利の基準（昭和39年消防庁告示第7号）以上数とする。

水利 管轄区分	耐震性貯水槽				
	100m ³ 以上	60m ³ 以上 100m ³ 未満	40m ³ 以上 60m ³ 未満	20m ³ 以上 40m ³ 未満	計
小千谷市		3	26		29
長岡市 川口地域		1	4		5
計		4	30		34

上記表の防火水槽・貯水槽数のうち、耐震性を有する貯水槽を計上したもの。

3 消防資器材装備状況

平成23.4.1 現在

名 称	規 格	数 量
ホ ー ス	40mm・50mm・65mm	367
可 搬 式 ポ ン プ	C-1級	3
ジ ョ ッ ト シ ュ ー タ ー	手動式 20	10
ラ ビ ッ ト シ ュ ー タ ー	エンジン式	3
中 継 用 組 立 水 槽	-	5
高 発 砲 消 火 装 置	東 消 式	1
LXフォームジェット ラインプロポーションナー	東 消 式	1
金 属 探 知 機	-	2

4 水防資材備蓄状況

平成23.4.1 現在

品 名	倉庫名 消防本部	東小千谷防 災備蓄倉庫 (元中子)	小千谷市水防倉庫			合 計
			元 町	川 井	五 辺	
布袋類 (枚)	3,000	5,000	20,000	900	20,000	48,900
縄 (kg)	20	6	35	10	17.5	88.5
鉄製杭 (本)	25	30	45	50	30	180
杭木類 (本)			30	30	100	160
鉄線 (kg)	25	25	25	25	25	125
T型マット			1			1
スコップ	30	10	12	12	20	84
かけや	4	2	2	7	2	17
ハンマー	3	2	3	1	2	11
鋸 (のこぎり)	1	1	4	3	1	10
鉋 (なた)	1		2	2	1	6
鎌 (かま)	22	5	8	6	6	47
つるはし	1	2	6	6	7	22
鍬 (くわ)			2	3	1	6
番線カッタ -	2	1	2	2	2	9
しの	2	2	3	2	2	11
ビニ-ルシート	33	17	9	7	7	73
斧 (おの)	1		3	1	1	6
救命胴衣	34					34
ロープ		4				4
むしろ			60			60
一輪車	3		3			6
単管パイプ	10					10
土のう作成器	2					2
砂 (m ³)	2	1				3

水防資材は総務課危機管理係所管

5 消防車両一覧

平成23.4.1 現在

所属	車名	社名	登録番号	ポンプ	排気量	定員	総重量(kg)	年式	級別	購入年月
本部 (消防署)	化学車	日野	長岡 800 は 877	モリタ	6,400	6	11,370	2009	A-2	H 21. 2
	小千谷ポンプ1号車	日野	長岡 800 さ 6680	モリタ	4,000	5	6,105	2007	A-2	H 19. 2
	小千谷ポンプ2号車	トヨタ	長岡 88 さ 9716	日本ドライ	4,100	5	4,775	1997	A-2	H 9. 10
	小千谷タンク1号車	日産	長岡 88 や 3096	日本ドライ	6,920	7	9,555	1996	A-1	H 8. 8
	救助工作車	日野	長岡 800 は 1016	-	6,400	6	10,880	2010	-	H 23. 2
	梯子車	マギルス	長岡 88 や 3040	-	7,680	6	14,940	1996	-	H 8. 3
	小千谷救急1号車	トヨタ	長岡 831 ふ 119	-	2,690	7	3,215	2008	-	H 20. 11
	小千谷救急2号車	トヨタ	長岡 800 さ 4235	-	3,370	7	3,045	2003	-	H 15. 11
	小千谷指令1号車	トヨタ	長岡 800 さ 317	-	2,980	15	2,855	1999	-	H 11. 8
	小千谷指令2号車	マツダ	長岡 800 さ 7088	-	2,990	3	4,235	2007	-	H 19. 9
	小千谷指令3号車	スズキ	長岡 80 あ 1155	-	660	4	1,410	2001	-	H 13. 6
	小千谷指令5号車	マツダ	長岡 830 に 119	-	2,260	5	1,785	2004	-	H 16. 8
	オートバイ 火災出動車 (ミストドラゴン) 1	ヤマハ	長岡 え 5251	日本機械	249	1	270	2006	-	H 18. 6
	オートバイ 火災出動車 (ミストドラゴン) 2	ヤマハ	長岡 え 5252	日本機械	249	1	270	2006	-	H 18. 6
川口出張所	川口ポンプ1号車	トヨタ	長岡 88 さ 7343	日本機械	3,660	5	5,215	1994	A-2	H 6. 11
	川口救急1号車	トヨタ	長岡 800 さ 166	-	3,370	7	3,005	1999	-	H 11. 7
	川口指令1号車	マツダ	長岡 800 さ 224	-	1,490	5	1,595	1999	-	H 11. 7

平成21年度からの消防車両無線呼出名称変更に伴い、消防車両名も平成21年4月1日より変更。

6 消防通信施設

(1) 通信指令施設

平成23.4.1 現在

装置の名称	装置の機能		
		容量	実装
指令台 消防緊急通信指令システム 富士通(型) HA-1000D	119番受付回線	20	8
	指令回線	15	2
	局線回線	10	1
	専用回線	10	5
	内線回線	5	2
	自動順次指令装置	10	5
自動案内装置 (テレフォンガイド)	災害出動に伴う内容を音声によって案内するサービス。 83-3030	30	5
情報収集装置	119回線の着信応答時、録音開始時刻を記録するとともに通話音声を自動録音する。(デジタル録音媒体) 主録音装置 (1台) TAKACOM VR-464 副録音装置 (2台) TEAC IR-300		
非常用指令設備	指令電話装置の中樞機能障害時、指令台に代わって119番の受理及び個別指令ができる機能を有する。		

(2) 無線設備 基地局

平成23.4.1 現在

呼出名称	出力(W)	配置場所	備考
おぢやしょうぼうほんぶ	25	消防本部・署	市単独波 市単独救急波
	10	消防本部・署	全国共通波 周辺市町村共通波 県内共通波 防災相互波
おぢやしょうぼうかわぐち	10	川口出張所	市単独波 周辺市町村共通波 県内共通波 防災相互波

固定局

平成23.4.1 現在

呼出名称	出力(W)	配置場所	備考
おぢやしょうぼうほんぶ	10	消防本部・署	市単独波 周辺市町村共通波
おぢやしょうぼうかわぐち	10	川口出張所	市単独波 周辺市町村共通波

陸上移動局

平成23.4.1 現在

呼 出 名 称	市波	ブ波	県波	防波	救波	全国波			団波	配 置 場 所	出力 (W)	製造年
						1	2	3				
お ぢ や か が く 1										化 学 車	10	H20
お ぢ や ほ ん ぷ 1										ポ ン プ 1	10	H19
お ぢ や ほ ん ぷ 2										ポ ン プ 2	10	H 9
お ぢ や た ん く 1										タ ン ク 車	10	H 8
お ぢ や き ゅ う じ ょ 1										救 助 工 作 車	10	H 4
お ぢ や は し ご 1										梯 子 車	10	H 8
お ぢ や き ゅ う き ゅ う 1										救 急 1	10	H 3
お ぢ や き ゅ う き ゅ う 2										救 急 2	25	H15
お ぢ や し れ い 1										指 令 1	10	H12
お ぢ や し れ い 2										指 令 2	10	H19
お ぢ や し れ い 3										指 令 3	10	H16
お ぢ や し れ い 5										指 令 5	25	H 8
お ぢ や か が く 11										化 学 車 携 帯	5	H16
お ぢ や ほ ん ぷ 11										ポ 携 ン プ 1 帯	5	H16
お ぢ や ほ ん ぷ 21										ポ 携 ン プ 2 帯	1	H16
お ぢ や た ん く 11										タ 携 ン ク 車 帯	5	H16
お ぢ や き ゅ う じ ょ 11										救 携 助 工 作 車 帯	5	H16
お ぢ や は し ご 11										梯 子 車 携 帯	1	H16
お ぢ や き ゅ う き ゅ う 11										救 急 1 携 帯	5	H15
お ぢ や き ゅ う き ゅ う 21										救 急 2 携 帯	5	H 8
お ぢ や し れ い 10										署 長 用 携 帯	5	H16
お ぢ や し れ い 11										副 携 署 長 用 帯	5	H16
お ぢ や し れ い 12										予 携 防 課 長 用 帯	5	H16
お ぢ や し れ い 13										総 携 務 課 長 用 帯	1	H16

呼 出 名 称	市波	ブ波	県波	防波	救波	全国波			団波	配置場所	出力(W)	製造年
						1	2	3				
おぢやしれい 14										小隊長用帯携	5	H16
おぢやしれい 15										副小隊長用帯携	5	H16
おぢやしれい 16										消防業務用帯携	5	H16
おぢやしれい 17										消防業務用帯携	5	H16
おぢやしれい 18										消防業務用帯携	1	H16
おぢやしれい 19										消防業務用帯携	1	H16
おぢやしれい 20										消防業務用帯携	5	H16
おぢやしれい 21										緊援隊用帯携	5	H16
おぢやしれい 22										緊援隊用帯携	5	H16
おぢやしき 1										現場指揮本部簡易基地局	10	H16
おぢやしき 2										現場指揮本部簡易基地局	10	H16
おぢやしき 3										現場指揮本部簡易基地局	10	H16
かわぐちぼんぷ 1										川口ポンプ車	10	H8
かわぐちきゅうきゅう 1										川口救急車	10	H11
かわぐちしれい 1										川口指令車	10	S55
かわぐちぼんぷ 11										川口ポンプ車帯携	5	H12
かわぐちきゅうきゅう 11										川口救急車帯携	5	H11
かわぐちしれい 11										出張所長用帯携	5	H9
おぢやしれい 12										川口指令車帯携	5	H9

市波：市単独波

ブ波：周辺市町村共通波

県波：県内共通波

防波：防災相互波

救波：市単独救急(複信)波

団波：全国消防団波

全国波：全国共通波1・2・3波

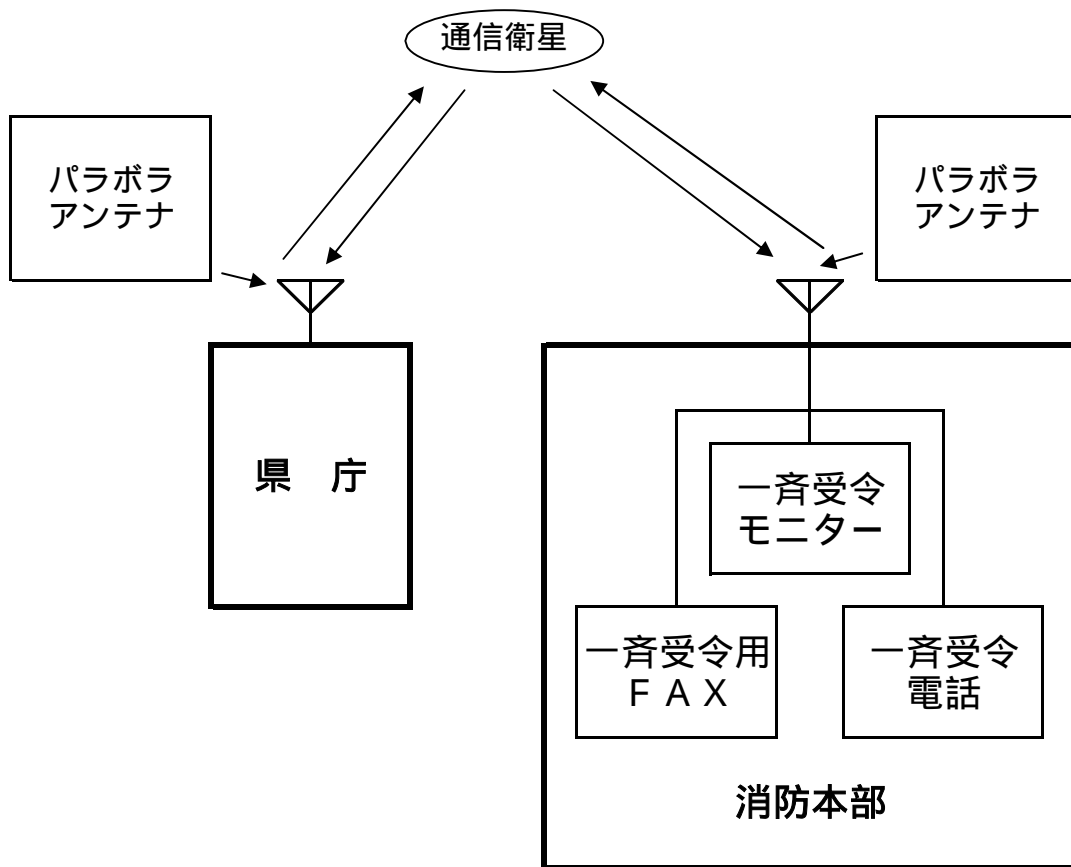
車載無線機	25W	2台	10W	13台
現場指揮簡易基地局	10W	3台		
携帯無線機	5W	20台	1W	5台

(3) 非常用通信設備

- 災害時優先電話 11回線
- ・ 固定電話回線 6回線
 - ・ 携帯電話回線 5回線

防災行政無線 (VSAT) 3点セット

- ・ パラボラアンテナ
- ・ 一斉受令用FAX
- ・ 一斉受令電話



(4) 119回線による火災・救急等受信回数

119番受信状況(IP電話及びFAX含む。)

平成22.1.1~12.31

種別/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	3	1			4			2		10	8	4	32
救急	78	71	66	89	76	65	65	91	50	73	75	73	872
救助				1			1	1		3			6
その他の災害 (警戒含む)	2	2	2			3	1				1	1	12
転送	火災												
	救急		2									1	3
	救助												
	その他の災害												
いたずら・嘘	3	11	14	11	10	8	14	13	4	12	12	10	122
間違い	3	5	6	7	8	6	4	12	7	6	7	5	76
機器誤発報						1	1	1		3	1		7
通報訓練	6	6	11	7	13	28	13	7	27	51	28	7	204
企業試験	4	20	8	37	32	7	9	15	25	33	24	23	237
無言電話		1		1	3				2	1			8
各種問合せ	9	6	2	4	4	1	6	2	4	8	9	7	62
その他	10	9	9	3	6	8	4	11	3	5	15	11	94
合計	118	134	118	160	156	127	118	155	122	205	180	142	1,735

前年(前年比) 1,648(+87)

携帯119番受信状況

種別/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	1	3			1			1		4		2	12
救急	20	9	19	13	17	22	21	34	20	21	25	28	249
救助	4	1		1	1	1						3	11
その他の災害 (警戒含む)	1	2			2						1		6
転送	火災			2									2
	救急	4	2	2	1	1	1	2		3	4		20
	救助												
	その他の災害												
いたずら・嘘													
間違い			1		1								2
機器誤発報												1	1
通報訓練													
企業試験			1										1
無言電話													
各種問合せ	1	1										1	3
その他	3				1							1	5
合計	34	18	23	17	24	24	23	35	20	28	30	36	312

前年(前年比) 284(+28)

7 気象観測

(1) 気象に関する警報・注意報等の受信状況一覧(新潟地方気象台発表)

平成22.1.1～12.31

種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
警報	波浪	2	1										3
	大雨					2	1		7				10
	洪水					2	1		7				10
	暴風	1											1
	暴風雪	1											1
	大雪	1										1	2
合計	5	1				4	2		14			1	27

種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
注意報	波浪	9	5	9	3	3							29	
	雷	9	4	9	3	4	7	11	13	14	6	8	11	99
	霜			1		1								2
	低温	1	3		11	3								18
	強風	8	3	6	6	2		1	1	3		4		34
	乾燥			1	4	2							1	8
	濃霧	7	8	8	9	5	4	1			8	5	10	65
	大雨	4		1			4	10	7	15	2	2		45
	洪水	3		1	1		4	10	7	13	2	2		43
	大雪	4	1										2	7
	雪崩	4	2	5									2	13
	融雪	2	2	4	5	2								15
	着雪	8	6	5									5	24
	着氷													
	風雪	7	4	3										14
	合計	66	38	53	42	22	19	33	28	45	18	21	31	416

警報・注意報の細分区域が、平成22年5月27日を以って市町村毎となったことから、1月～5月までは長岡地域、6月～12月は小千谷市の数値を計上したもの。

(2) 気象統計

月別気象観測統計

観測地：元中子 平成22.1.1～12.31

	気温()			湿度(%)		風速(m/s)		気圧(hPa)		実効湿度(%)			雨量(mm)	
	平均	最高	最低	平均	最低	平均	最高	現地	海面	平均	最高	最低	総量	日最高
1月	0.9	8.3	-4.4	89.2	48.2	2.5	18.7	1009.4	1017.3	89.4	95.6	80.7	465.5	38.5
2月	1.0	15.1	-6.8	86.7	33.0	2.5	23.1	1011.3	1019.3	86.7	94.5	76.5	163.0	26.0
3月	3.0	17.5	-2.8	83.4	19.3	2.5	21.1	1011.4	1019.3	84.4	93.6	72.8	171.0	24.5
4月	7.9	21.6	-2.3	76.1	18.7	2.7	16.9	1011.3	1019.1	76.6	86.0	64.0	128.5	27.5
5月	15.3	30.7	4.3	73.8	15.4	2.5	15.7	1005.2	1012.7	72.9	88.0	58.4	103.0	16.0
6月	21.3	30.5	10.7	77.5	21.7	2.2	10.8	1004.5	1011.8	76.7	87.5	67.5	133.5	48.0
7月	25.3	34.4	19.4	81.5	43.4	2.1	12.4	1003.5	1010.7	82.0	90.6	72.2	108.0	36.0
8月	27.7	36.0	22.5	78.4	40.9	2.2	10.9	1006.7	1013.9	78.9	86.2	73.0	41.0	17.0
9月	22.3	36.4	12.2	82.8	31.2	2.2	11.9	1006.3	1013.6	82.1	90.9	72.7	350.5	68.5
10月	15.8	27.1	3.4	85.5	38.1	2.2	10.7	1010.4	1017.9	84.7	92.5	76.1	138.0	46.0
11月	8.7	19.5	0.9	85.2	32.4	2.5	23.1	1010.9	1018.6	85.8	91.3	81.1	295.0	55.5
12月	4.1	18.1	-2.7	89.1	41.5	2.4	20.9	1003.7	1011.5	88.3	93.9	79.8	418.0	67.5

雨量には、雪解け水を含みます。

気象データは、元中子（旧北陸農業試験場）に設置してある自動気象観測装置から、消防本部へデータ転送されている。

月別天候・雪量集計

観測地：消防本部 平成22.1.1～12.31

	天 候					雪 量 (cm)		
	快晴	晴れ	曇り	雨	雪	総降雪	最高降雪	最高積雪
1月		34	153	41	144	339	105	182
2月	5	66	127	46	92	169	40	165
3月	3	54	183	87	45	10	6	94
4月	1	78	186	95	*	*	*	*
5月		137	169	66	*	*	*	*
6月	2	132	185	41	*	*	*	*
7月	5	128	206	33	*	*	*	*
8月	5	191	158	18	*	*	*	*
9月	3	91	194	72	*	*	*	*
10月		92	211	69	*	*	*	*
11月		107	170	83	*	*	*	*
12月	1	57	174	90	50	108	50	80
合 計	25	1,167	2,116	741	331			

天候観測は、2時間毎に観測。(1日12回)

天候の雪には、あられ・みぞれを含む。

雪量は、午前9時に観測。(1日1回)

降積雪量観測集計

平成22年初雪～平成23年雪消

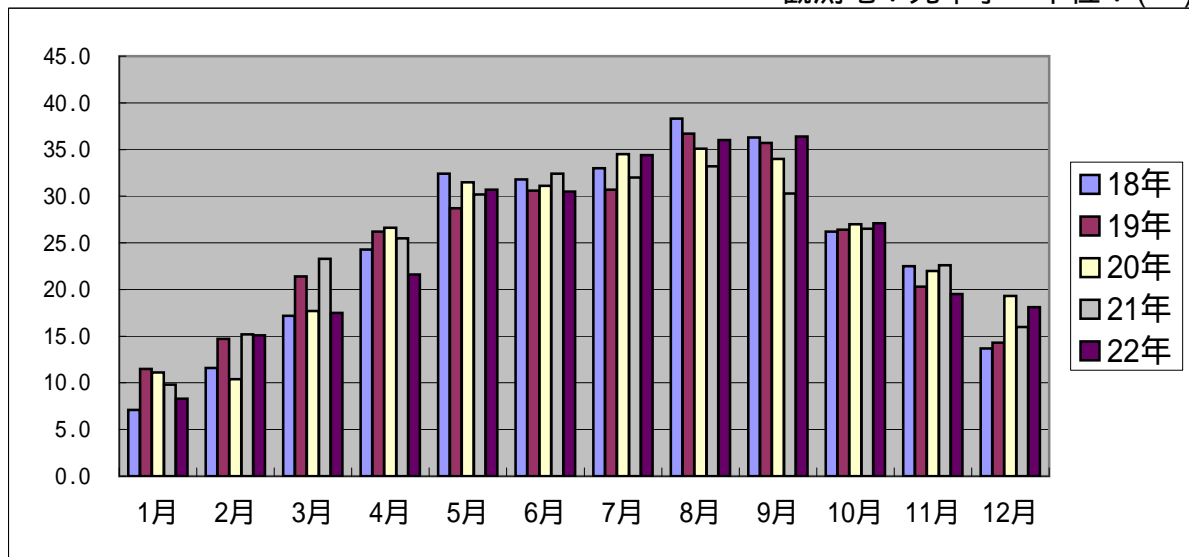
観測所名	降雪量合計	最大降雪量	最大積雪量	根雪			最大降雪量 全観測所平均	最大積雪量 全観測所平均	
				初日	終日	根雪期間			
県指定観測所	旧北陸農業試験場 (元中子)		2月1日 280cm	12月24日	注1 4月16日	114日	58.6cm 元中子及び塩谷を除く	320.5cm	
	池ヶ原地区 (古田)	1528cm	12月25日 82cm	2月1日 394cm	12月15日	5月7日			143日
	塩谷地区 (新潟大学災害科学センター)			2月1日 393cm	12月15日	注1 5月9日			145日
東山小学校	973cm	1月27日 60cm	2月1日 322cm	12月24日	4月25日	123日			
川井小学校	950cm	1月27日 55cm	2月1日 325cm	12月24日	4月26日	124日			
岩沢小学校	1026cm	1月27日 51cm	1月31日 323cm	12月24日	4月25日	123日			
真人小学校	1056cm	1月20日・ 1月27日 55cm	1月31日 328cm	12月24日	5月2日	130日			
真人北部地区 (市之沢)	1709cm	1月20日 86cm	2月1日 424cm	12月15日	5月6日	142日			
片貝中学校	439cm	1月16日・ 1月27日 30cm	2月1日 250cm	12月24日	4月8日	106日			
千田中学校	573cm	1月27日 48cm	1月31日 240cm	12月24日	4月13日	111日			
消防本部	815cm	1月27日 60cm	2月1日 251cm	12月24日	4月13日	111日			

塩谷地区については平成18年度から「新潟大学災害科学センター」が設置した気象観測装置の情報に基づき集計しています。

注1 気象観測装置で観測部分の雪消え状態によりデータが不正確なため、推定日

過去5年間1月～12月の最高気温調べ

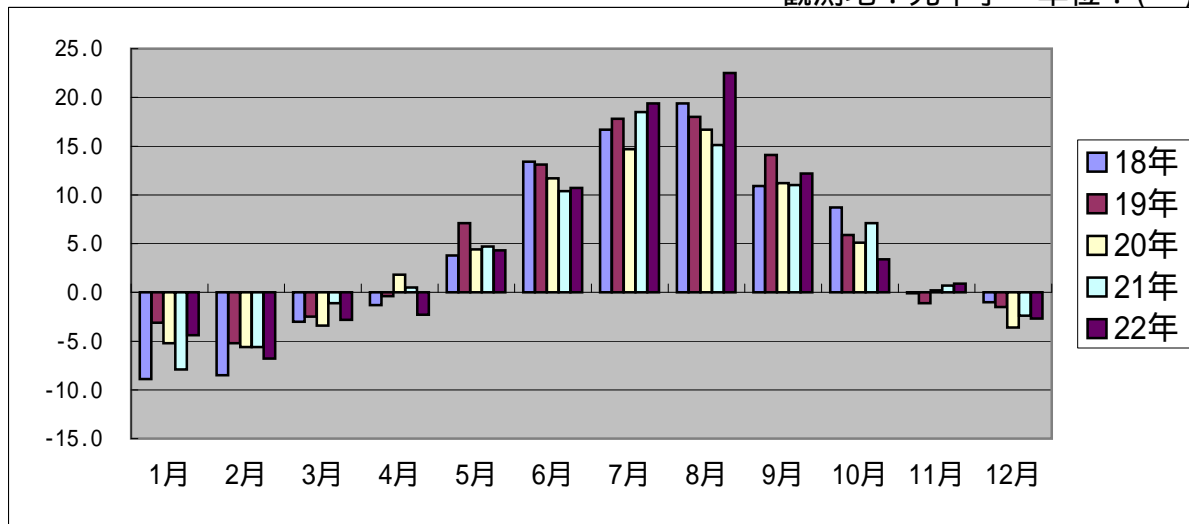
観測地：元中子 単位：()



年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
18年	7.1	11.6	17.2	24.3	32.4	31.8	33.0	38.3	36.3	26.2	22.5	13.7
19年	11.5	14.7	21.4	26.2	28.7	30.6	30.7	36.7	35.7	26.4	20.3	14.3
20年	11.1	10.4	17.7	26.6	31.5	31.1	34.5	35.1	34.0	27.0	22.0	19.3
21年	9.8	15.2	23.3	25.5	30.2	32.4	32.0	33.2	30.3	26.5	22.6	16.0
22年	8.3	15.1	17.5	21.6	30.7	30.5	34.4	36.0	36.4	27.1	19.5	18.1

過去5年間1月～12月の最低気温調べ

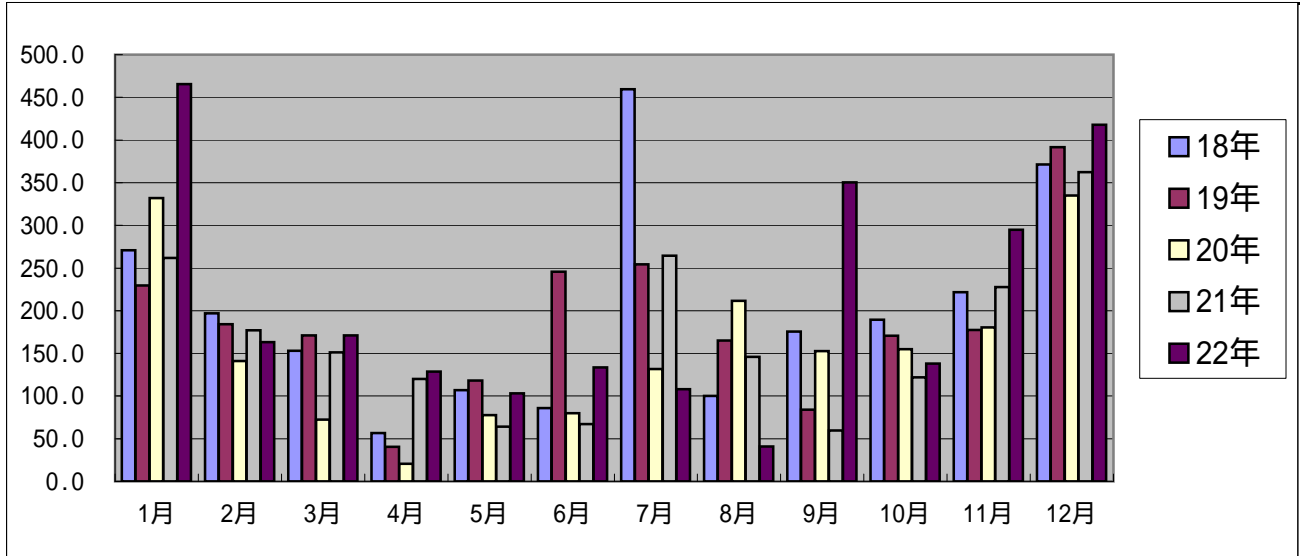
観測地：元中子 単位：()



年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
18年	-8.9	-8.5	-3.0	-1.3	3.8	13.4	16.7	19.4	10.9	8.7	-0.1	-1.0
19年	-3.1	-5.2	-2.5	-0.4	7.1	13.1	17.8	18.0	14.1	5.9	-1.1	-1.5
20年	-5.2	-5.6	-3.4	1.8	4.4	11.7	14.7	16.7	11.2	5.1	0.2	-3.6
21年	-7.9	-5.6	-1.1	0.5	4.7	10.4	18.5	15.1	11.0	7.1	0.7	-2.4
22年	-4.4	-6.8	-2.8	-2.3	4.3	10.7	19.4	22.5	12.2	3.4	0.9	-2.7

過去5年間1月～12月の降雨量調べ

観測地：元中子 単位：(mm)



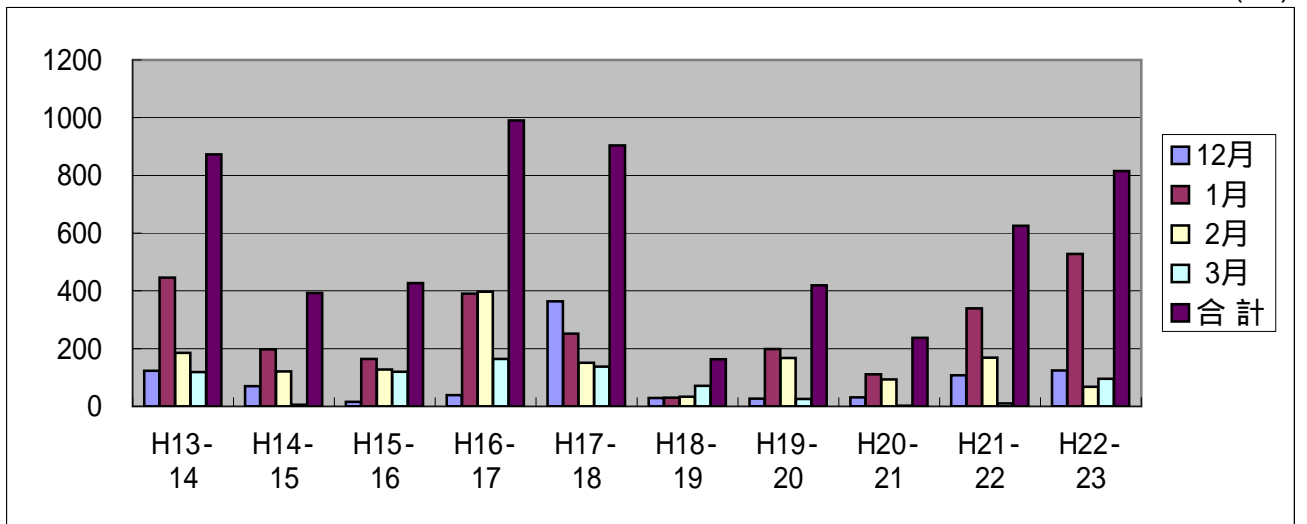
年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
18年	271.0	197.0	153.0	56.5	107.0	86.0	459.5	100.0	175.5	189.5	221.5	371.5
19年	229.5	184.0	171.0	40.5	118.0	245.5	254.5	165.0	84.0	170.5	177.5	391.5
20年	332.0	141.0	72.5	20.5	77.5	80.0	131.5	211.5	152.5	155.0	180.5	335.0
21年	262.0	177.0	151.0	120.0	64.0	67.0	264.5	146.0	59.5	122.0	227.5	362.5
22年	465.5	163.0	171.0	128.5	103.0	133.5	108.0	41.0	350.5	138.0	295.0	418.0

雨量には、雪解け水を含みます。


21年1月から4月分の雨量は、国土交通省信濃川河川事務所、湯殿川水門脇（元町）の雨量計データによるもので、雪解け水を含む。

過去10年間の降雪量調べ

観測地：消防本部 単位：(cm)



年	H13-14	H14-15	H15-16	H16-17	H17-18	H18-19	H19-20	H20-21	H21-22	H22-23
12月	123	70	15	39	364	29	27	31	108	124
1月	446	197	164	390	252	30	198	111	339	528
2月	185	121	128	397	151	33	168	93	169	68
3月	119	5	120	164	137	71	26	2	10	95
合計	873	393	427	990	904	163	419	237	626	815



救急救助關係

救急関係

1 事故種別出場状況

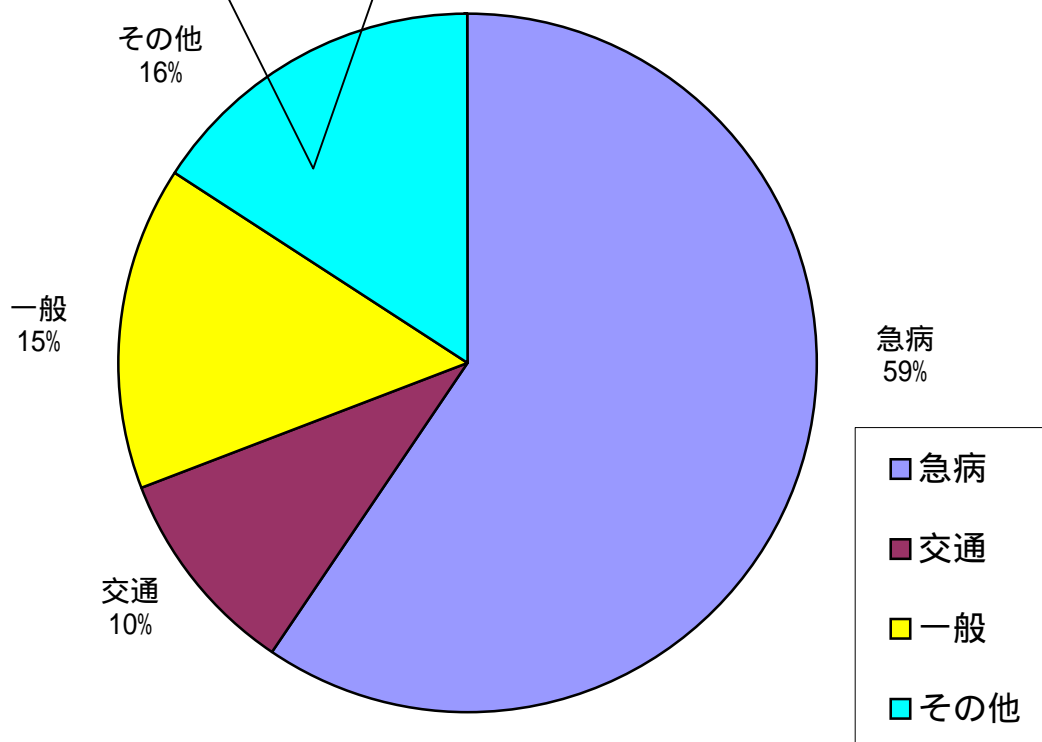
平成22.1.1～12.31

種 別 地 区 別		合	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
		計	災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	の
			害	災		害	災	競	負		行		他
							害	技	傷		為		
出 場 件 数	小 千 谷 市	1,200	1		3	101	21	8	183	4	13	703	163
	長岡市川口地域	169				21	1		25		4	117	1
	関越自動車道	15				9						6	
	応 援	6				5						1	
	合 計	1,390	1		3	136	22	8	208	4	17	827	164
不 搬 送 件 数	小 千 谷 市	72			1	7			5	1	6	49	3
	長岡市川口地域	9				1						8	
	関越自動車道	4				3						1	
	応 援	1				1							
	合 計	86			1	12			5	1	6	58	3
搬 送 人 員	小 千 谷 市	1,147	1		2	112	21	8	178	4	7	654	160
	長岡市川口地域	165				25	1		25		4	109	1
	関越自動車道	16				11						5	
	応 援	5				4						1	
	合 計	1,333	1		2	152	22	8	203	4	11	769	161

2 事故種別出場比率

平成22.1.1～12.31

労働災害	22件 (1.6%)	運動競技	8件 (0.6%)	自損行為	17件 (1.2%)
転院搬送	161件 (11.5%)	加害	4件 (0.3%)	水難	3件 (0.2%)
その他	3件 (0.2%)	火災	1件 (0.1%)		



(単位：件)

事故種別	合計	急病	交通	一般	その他
出場件数	1,390	827	136	208	219

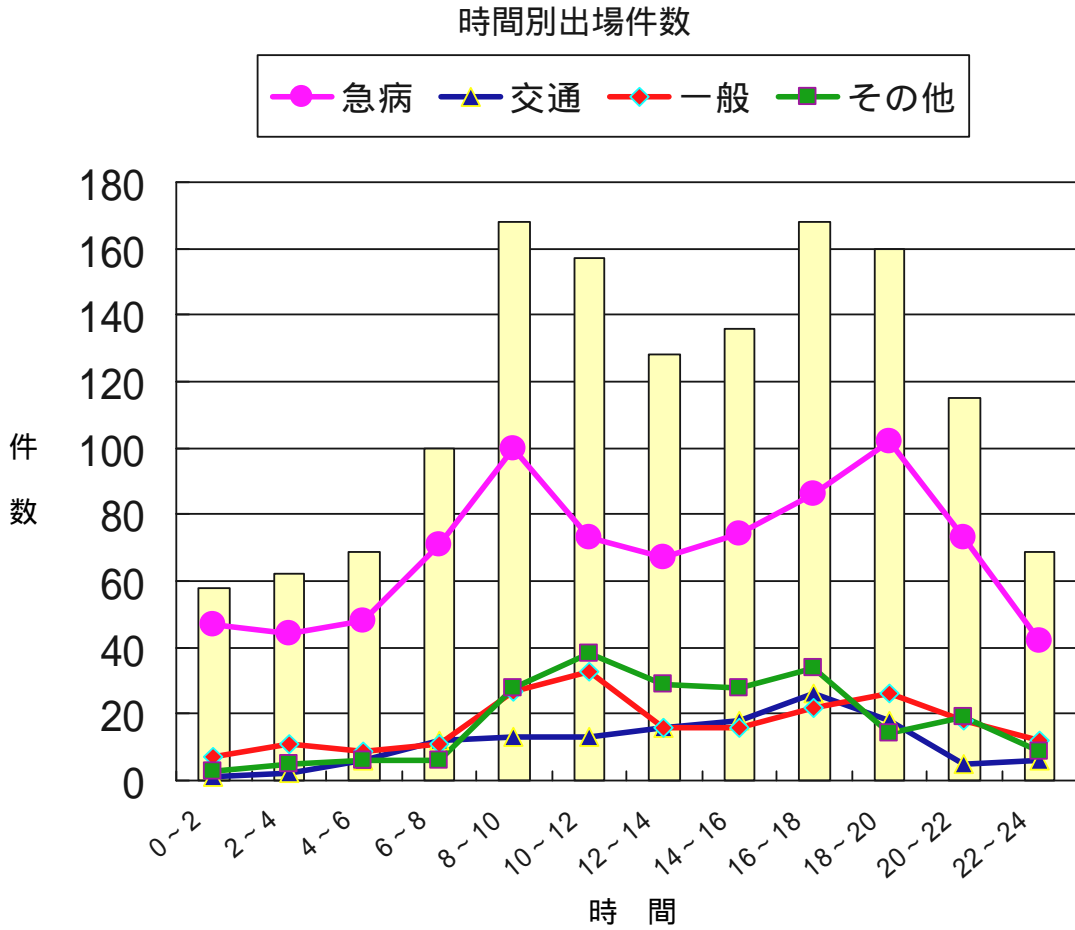
3 地区別出場状況

平成22.1.1～12.31

		合 計	急 病	交 通	一 般	そ の 他
小 千 谷 市	東 小 千 谷	191	129	14	36	12
	西 小 千 谷	219	118	10	25	66
	山 辺	53	34	5	8	6
	吉 谷	46	32	6	5	3
	城 川	337	156	26	45	110
	千 田	122	72	17	28	5
	川 井	17	12		4	1
	東 山	22	15	3	4	
	真 人	37	23	4	9	1
	岩 沢	34	24	4	5	1
	五 辺 ・ 高 梨	18	9	5	3	1
	片 貝	104	79	7	11	7
	合 計	1,200	703	101	183	213
長 岡 市 川 口 地 域	川 口	36	20	6	7	3
	中 山	22	17		4	1
	和 南 津	11	6	3	1	1
	西 川 口	50	40	2	7	1
	相 川	6	4	1	1	
	武 道 窪	2	2			
	牛 ヶ 島	28	16	8	4	
	田 麦 山	9	7	1	1	
	木 沢	3	3			
	荒 谷 ・ 峠	2	2			
合 計	169	117	21	25	6	
高 速	関越自動車道上り	9	3	6		
	関越自動車道下り	3	1	2		
	関越自動車道管外応援	3	2	1		
	合 計	15	6	9		
管 外 応 援	長 岡 市	4	1	3		
	十 日 町 市	1		1		
	魚 沼 市	1		1		
	合 計	6	1	5		
合 計		1,390	827	136	208	219

4 時間別救急出場状況

出場件数を時間別で見ると、8時から10時の間及び16時から18時の間が最も多く、両時間とも168件となっています。

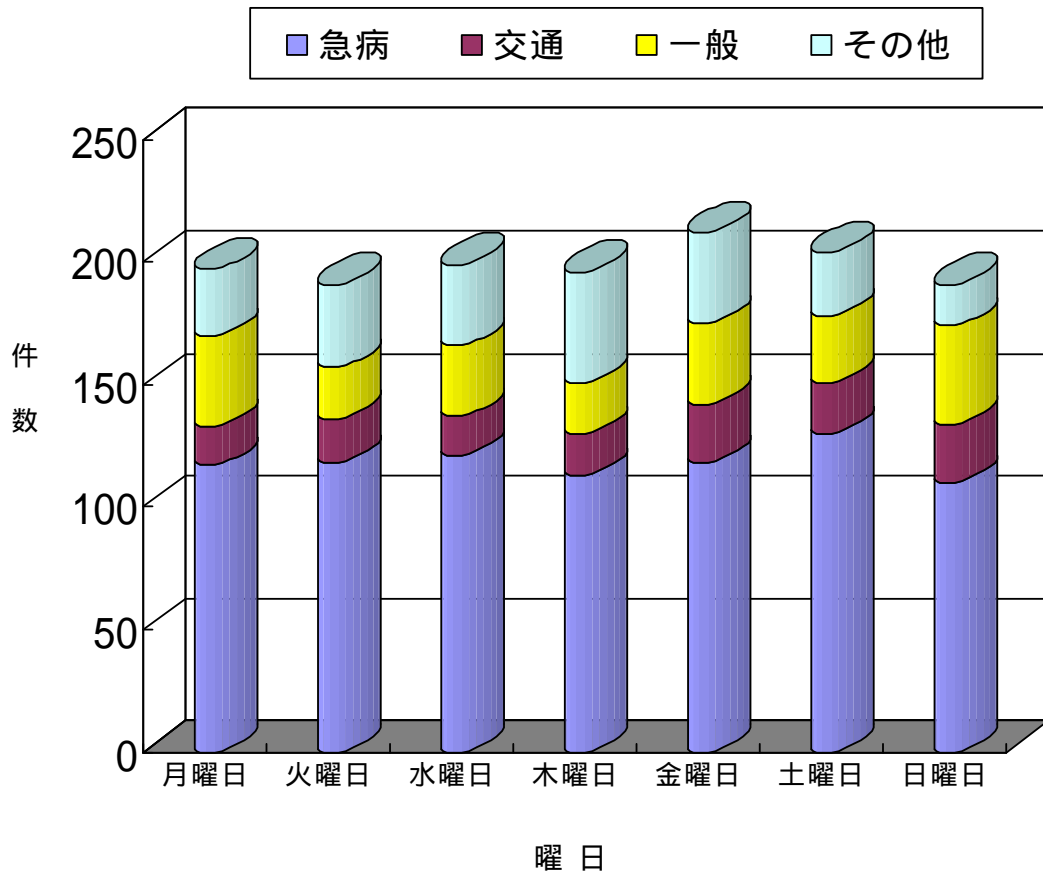


平成22.1.1～12.31

(件)

時間 種別	計	時間											
		0) 2	2) 4	4) 6	6) 8	8) 10	10) 12	12) 14	14) 16	16) 18	18) 20	20) 22	22) 24
合計	1,390	58	62	69	100	168	157	128	136	168	160	115	69
急病	827	47	44	48	71	100	73	67	74	86	102	73	42
交通	136	1	2	6	12	13	13	16	18	26	18	5	6
一般	208	7	11	9	11	27	33	16	16	22	26	18	12
その他	219	3	5	6	6	28	38	29	28	34	14	19	9

5 曜日別救急出場状況



平成22.1.1 ~ 12.31
(件)

曜日 種別	計	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
合計	1,390	197	191	199	196	212	204	191
急病	827	117	118	121	113	118	130	110
交通	136	16	18	16	17	24	21	24
一般	208	37	21	29	21	33	27	40
その他	219	27	34	33	45	37	26	17

6 月別出場状況

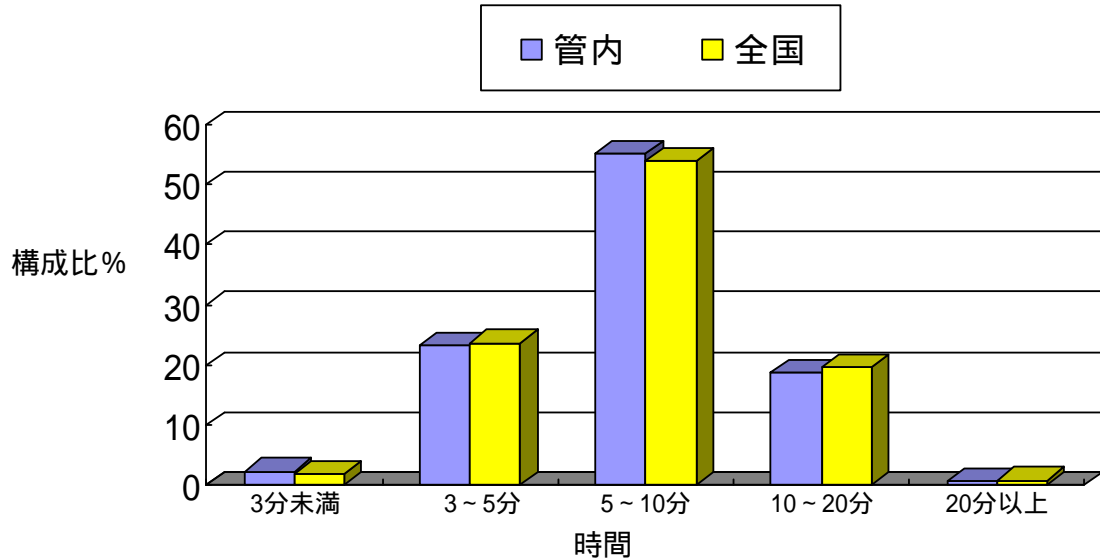
平成22.1.1～12.31

事故種別	合計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
												転院搬送	その他	
1月	救急出場件数	121			8	2		18		1	81	11		
	不搬送件数	11			2					1	8			
	搬送人員	111			7	2		18			73	11		
2月	救急出場件数	101		1	5	2		17		2	64	10		
	不搬送件数	7			1					1	5			
	搬送人員	94		1	4	2		17		1	59	10		
3月	救急出場件数	99			11	2		17			58	11		
	不搬送件数	3						1			2			
	搬送人員	99			14	2		16			56	11		
4月	救急出場件数	115			9	3	1	19		3	64	16		
	不搬送件数	2			1					1				
	搬送人員	115			10	3	1	19		2	64	16		
5月	救急出場件数	119		1	12		3	16	1	1	71	13	1	
	不搬送件数	11		1	1				1		7		1	
	搬送人員	109			12		3	16		1	64	13		
6月	救急出場件数	112		1	15	2	2	13			61	18		
	不搬送件数	4									4			
	搬送人員	111		1	18	2	2	13			57	18		
7月	救急出場件数	108			15	1		17			66	9		
	不搬送件数	5			1						4			
	搬送人員	107			18	1		17			62	9		
8月	救急出場件数	140			19	3	1	16	1	2	87	10	1	
	不搬送件数	9			4						4		1	
	搬送人員	137			21	3	1	16	1	2	83	10		
9月	救急出場件数	101			5	1	1	16			65	13		
	不搬送件数	3			1						2			
	搬送人員	100			6	1	1	16			63	13		
10月	救急出場件数	121			17	4		22	1		58	18	1	
	不搬送件数	9			1			2			5		1	
	搬送人員	117			20	4		20	2		53	18		
11月	救急出場件数	129	1		10	2		14		6	76	20		
	不搬送件数	8						2		2	4			
	搬送人員	121	1		10	2		12		4	72	20		
12月	救急出場件数	124			10			23	1	2	76	12		
	不搬送件数	14								1	13			
	搬送人員	112			12			23	1	1	63	12		
合計	救急出場件数	1,390	1		3	136	22	8	208	4	17	827	161	3
	不搬送件数	86			1	12			5	1	6	58		3
	搬送人員	1,333	1		2	152	22	8	203	4	11	769	161	

7 現場到着所要時間別出場件数の状況

管内では、119番通報を受信してから現場に到着するまでに要した平均所要時間は、7.1分でした。

* 全国平均は7.9分（平成21年のデータ）です。



時間	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上
管内 (%)	1.9	23.7	53.8	19.7	0.9
全国 (%)	1.7	10.8	65.2	21.0	1.3

* 全国は平成21年のデータ

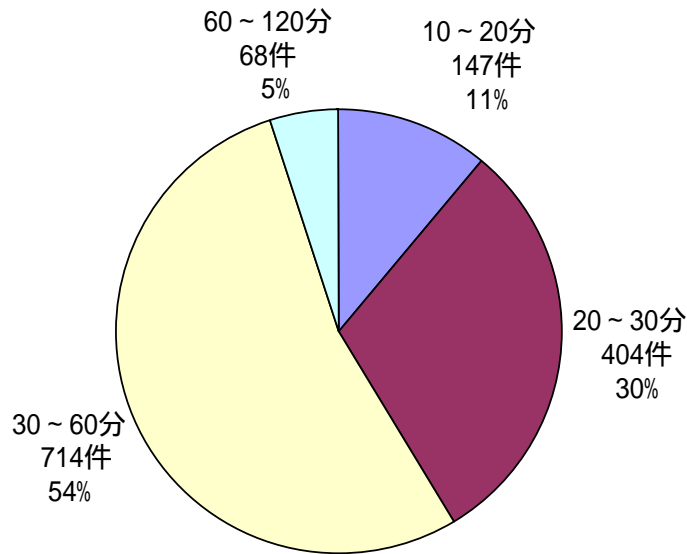
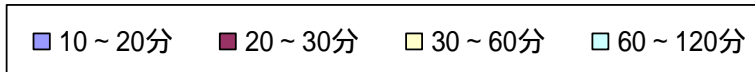
平成22.1.1~12.31
(件)

種別	時間	所要時間					合計	平均 (分)	最高 (分)
		3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上			
件数	急病	8	134	498	181	6	827	8	37
	交通	4	23	65	41	3	136	9	44
	一般負傷	1	37	130	37	3	208	7	26
	その他	13	136	55	15		219	7	15
	合計	26	330	748	274	12	1,390		

8 事故種別搬送人員収容所要時間の状況

管内では、119番通報を受信してから傷病者を医療機関に収容するまでに要した平均所要時間は34.2分でした。

* 全国平均は36.1分（平成21年のデータ）です。



平成22.1.1～12.31

(人)

種別	時間	所要時間						合計	平均 (分)	最高 (分)
		10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分 以上			
搬送人員	急病		91	278	375	25		769	33	86
	交通		10	35	87	20		152	40	109
	一般負傷		25	69	95	14		203	34	101
	その他		21	22	157	9		209	35	116
	合計			147	404	714	68		1,333	

9 年齢別・程度別・事故種別搬送人員

平成22.1.1～12.31

(人)

年齢区分	事故種別 傷病程度	合計	事故種別											
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
新生児	死亡													
	重症	3												3
	中等症													
	軽症													
	その他													
	計	3												3
乳幼児	死亡													
	重症													
	中等症	8				1						2	5	
	軽症	29				1				5		23		
	その他													
	計	37				2				5		25	5	
少年	死亡													
	重症													
	中等症	7				1		1	1			1	3	
	軽症	28				12		4	5			7		
	その他													
	計	35				13		5	6			8	3	
成人	死亡	15				3	1		1		2	8		
	重症	61				11	5		5		2	20	18	
	中等症	108	1			13	5		7	1		52	29	
	軽症	274				73	9	3	34	3	2	145	5	
	その他	2										2		
	計	460	1			100	20	3	47	4	6	227	52	
高齢者	死亡	58			1	2			3		3	46	3	
	重症	193				2	1		31		2	115	42	
	中等症	279				9			27			192	51	
	軽症	267			1	24	1		84			155	2	
	その他	1										1		
	計	798			2	37	2		145		5	509	98	
合計	死亡	73			1	5	1		4		5	54	3	
	重症	257				13	6		36		4	135	63	
	中等症	402	1			24	5	1	35	1		247	88	
	軽症	598			1	110	10	7	128	3	2	330	7	
	その他	3										3		
	計	1,333	1		2	152	22	8	203	4	11	769	161	

年齢区分

新生児：生後28日未満の者

少年：満7歳以上満18歳未満の者

高齢者：満65歳以上の者

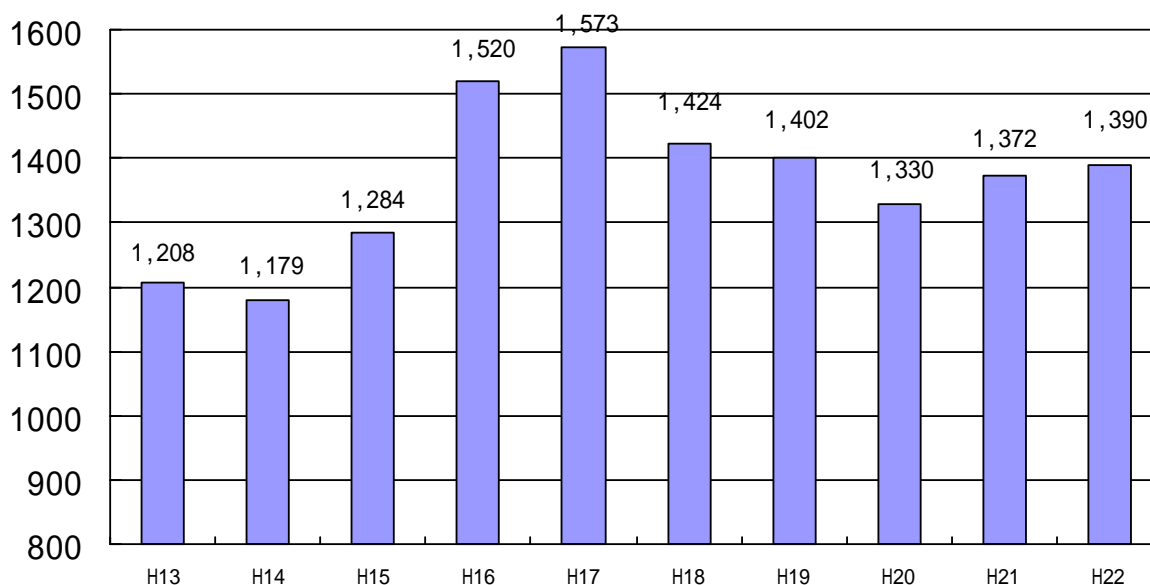
乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者

成人：満18歳以上65歳未満の者

10 過去5年間の事故種別出場状況

年		事故種別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
18年	出場件数	1,424	3		1	156	23	4	213	2	30	773	219	
	不搬送	66	1		1	13	1		9		9	28	4	
	搬送人員	1,399	2			178	22	4	206	2	21	749	215	
19年	出場件数	1,402	4			134	17	14	233		22	771	207	
	不搬送	64				10			8		10	33	3	
	搬送人員	1,370	4			149	18	14	226		12	742	205	
20年	出場件数	1,330	8			154	13	7	205	7	20	743	173	
	不搬送	104	3			11			18	3	5	62	2	
	搬送人員	1,262	7			173	14	7	188	4	15	683	171	
21年	出場件数	1,372			2	143	11	13	217	7	24	773	182	
	不搬送	101			1	12			12	1	9	62	4	
	搬送人員	1,307			1	165	11	13	206	7	15	711	178	
22年	出場件数	1,390	1		3	136	22	8	208	4	17	827	164	
	不搬送	86			1	12			5	1	6	58	3	
	搬送人員	1,333	1		2	152	22	8	203	4	11	769	161	

1.1 過去10年間の救急出場件数の推移



平成16年まで旧山古志村は小千谷地域消防本部の管轄でしたが、小千谷市と長岡市川口地域の出場件数の推移をみるため含まれていません。

「新潟県中越大震災」の影響により、平成16年～19年にかけては例年に比べ増加傾向にありました。

全体では、救急出場件数は年々増加しています。

1.2 搬送人員別医療機関問合せ回数

問合せ回数	1回	2回	3回	4回	5回以上
搬送人員	860	191	68	32	21

1.3 転送回数別搬送人員

回数	合計	0回	1回	2回以上
搬送人員	1,333	1,330	3	

転送とは、最初の医療機関で収容できず、他の医療機関に収容したものを。

転送回数「0回」とは、最初の医療機関に収容したものを。

1.4 転送理由別件数

理由	合計	ベッド満床	専門外	医師不在	手術中	処置困難	理由不明	その他
件数	3					2		1

1 5 事故種別収容医療機関状況

搬送人員1,333人のうち、管内の医療機関に収容した人員は853人で全搬送人員の64.0%でした。

平成22.1.1～12.31

(人)

区域	医療機関	合計	急病	交通	一般負傷	その他
小千谷	告示 小千谷総合病院	658	430	69	123	36
	告示 魚沼病院	180	136	17	19	8
	根元整形外科医院	4		1	2	1
	片貝医院	1	1			
	山本医院	9	2	3	2	2
	山下メンタルクリニック	1	1			
長岡	告示 長岡赤十字病院	123	64	12	12	35
	告示 長岡中央総合病院	160	50	20	14	76
	告示 立川総合病院	129	54	13	21	41
	告示 長岡西病院	3	1			2
	県立精神医療センター	2	2			
	吉田病院	1			1	
	長岡保養園	3	3			
	小国診療所	1				1
	貝間整骨病院	1			1	
新潟	告示 新潟大学医歯学総合病院	3			1	2
その他の	告示 北日本脳神経外科医院	1				1
	告示 県立小出病院	35	18	10	5	2
	告示 県立十日町病院	13	4	7	2	
	告示 中条病院	2	1			1
	告示 堀之内病院	1	1			
	告示 国立診療所 新潟病院	1	1			
	告示 群馬県済生会前橋病院	1				1
合計		1,333	769	152	203	209

告示は救急告示病院を示す。

16 署所別救急出場状況

平成22.1.1～12.31

	合 計	小千谷消防署	川口出張所
出 場 件 数 (件)	1,390	1,119	271
不 搬 送 件 数 (件)	86	60	26
搬 送 人 員 (人)	1,333	1,079	254

17 救急出場覚知状況

平成22.1.1～12.31

(件)

覚 知 別	119	携帯119	警察専用	高速専用	病院専用	普通電話	駆け込み	その他	自己覚知
件 数	875	245	58	8	69	115	6	13	1

18 搬送傷病者居住地状況

平成22.1.1～12.31

(人)

全 搬 送 者 数 1,333人			
管 内 居 住 者 1,143人		管 外 居 住 者 190人	
小 千 谷 市	長 岡 市 川 口 地 域	県 内	県 外
993人	150人	157人	33人

19 発生場所別搬送人員

平成22.1.1～12.31

(人)

種 別 \ 場 所	計	住 宅	公衆出入場所	仕 事 場	道 路	そ の 他
急 病	769	580	136	22	19	12
交 通	152	1	2	4	142	3
一 般 負 傷	203	126	43	3	19	12
そ の 他	209	14	170	17	2	6
合 計	1,333	721	351	46	182	33

発生場所とは、事故等の発生した場所又は傷病者の居た場所をいう。

「住宅」とは、一般住宅及び高層住宅等で住居として使用している場所をいう。

「公衆出入場所」とは、百貨店・映画館・旅館・学校・駅構内等の人の集まる場所をいう。

「仕事場」とは、事務所・工場・作業所・各種事業所等の仕事をしている場所をいう。

(上記場所の従業員を含む)

「道路」とは、一般道路・高速道路・交差点・歩道及び歩道橋等をいう。

「その他」とは、上記以外の場所で公園・広場・空地・農地等をいう。

(発生場所が不明なものを含む)

20 応急処置等実施状況

平成22.1.1～12.31

	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
止血	38				7	4		18	1		7	1
固定	155				57	10	4	56		1	21	6
人工呼吸	8							1			7	
心マッサージ	4										4	
心肺蘇生（自動）												
心肺蘇生	54			1	3	1		4		5	40	
酸素吸入	461			1	26	4		30		6	323	71
気道確保	92			1	5	1		8		5	69	3
気道確保 * 1	5				1						4	
気道確保 * 2	7				1			2		1	3	
気道確保 * 3	39			1	4	1		4		3	26	
保温	65			1	12	3		12		1	28	8
被覆	107				45	12		42	1	1	5	1
在宅療法維持	1										1	
ショックパンツ												
除細動	5							2			3	
静脈路確保	32			1	4			3		2	22	
薬剤投与	7				2			1		1	3	
その他の応急処置	425	1			16	7	1	44		4	309	43
血圧測定	1,229	1		1	142	21	8	190	3	6	706	151
聴診器による呼吸音等の聴取	419	1		1	58	7	1	24		6	299	22
血中酸素飽和度の測定	1,255	1		1	136	21	7	196	3	6	726	158
心電図	666			1	34	8		47		9	484	83
対象人員	1,322	1		2	151	22	8	200	3	11	765	159

救急隊員が応急処置等を行った件数を計上。

人工呼吸及び心マッサージ欄はそれぞれ単独で行った場合のみとし、併用した場合は心肺蘇生欄に記載。

気道確保のうち*1は経鼻エアウェイ使用、*2は喉頭鏡、鉗子等による異物除去、*3はラリングアルマスク等による気道確保。

対象人員は搬送人員1,333人のうち応急処置をした人数。

2 1 救急資器材

名	称
体 温 計	バ ッ ク ボ ー ド
手動式人工呼吸器バック	カ ー デ ィ オ ポ ン プ
手動引金式人工蘇生器	在 宅 医 療 継 続 処 置 セ ッ ト
心 肺 蘇 生 用 背 板	シ ョ ッ ク パ ン ツ
電 動 式 吸 引 器	血 圧 計
マジックギブス一式	聴 診 器
頸椎固定用ギブス一式	血 中 酸 素 飽 和 測 定 器
ス ト レ ッ チ ャ ー	心 電 図 モ ニ タ ー
サブストレッチャー	経 鼻 エ ア ウ ェ イ
スクープストレッチャー	喉 頭 鏡
布 担 架	マ ギ ー ル 鉗 子
酸 素 ボ ン ベ	呼 吸 循 環 監 視 モ ニ タ ー
車両用オゾン殺菌器	輸 液 ポ ン プ
器具用ガス滅菌器	自 動 式 心 肺 蘇 生 装 置
自動式手指消毒器	ラ リ ン ゲ ア ル チ ュ ー ブ
噴 霧 消 毒 器	自 動 体 外 式 除 細 動 器

2 2 訓練用資器材

名 称	備 考
レ サ シ ア ン	
C P R マ ネ キ ン	
A E D ト レ ー ナ ー	
蘇生訓練用生体シミュレーター	
気道管理トレーナー	
静脈採血注射モデル 型	

救助関係

2 3 事故種別、発生場所別救助出動状況

平成22.1.1～12.31

発生場所 \ 事故種別		火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	その他の事故	計
屋内	住居	1						2	3
	その他								
道路	高速道路		3						3
	その他		22						22
水面			1	4					5
山岳									
その他屋外						1		5	6
計		1	26	4		1		7	39

2 4 事故種別、発生場所別救助活動状況

平成22.1.1～12.31

発生場所 \ 事故種別		火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	その他の事故	計
屋内	住居	1							1
	その他								
道路	高速道路		1						1
	その他		8						8
水面			1	1					2
山岳									
その他屋外						1		5	6
計		1	10	1		1		5	18

2 5 事故種別、発生場所別救助人員状況

平成22.1.1～12.31

発生場所 \ 事故種別		火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	その他の事故	計
屋内	住居	3							3
	その他								
道路	高速道路		1						1
	その他		9						9
水面			1						1
山岳									
その他屋外						1		5	6
計		3	11			1		5	20

2 6 救助資機材

H23.4.1 現在

分類	資機材名称		救助隊	工作車 積載	政令 別表	
一般救助用器具	かぎ付はしご		3		1	
	三連はしご		2		1	
	ワイヤーロープはしご		1		1	
	空気式救助マット		1		1	
	救命索発射銃		1		1	
	サバイバースリング・救助用縛帯		1・4		1	
	平担架		1		1	
	カラビナ	通常サイズカラビナ		24		1
		スーパーカラビナ		14		1
	滑車	シングル滑車		4		1
ダブル滑車		2		1		
ワイヤー用滑車		4		1		
重量物排除用器具	油圧ジャッキ（油圧ラムシリンダー）		2		1	
	大型油圧スプレッダー		2		2	
	可搬式ウィンチ（チルホール）		1		1	
	ワイヤーロープ		10		1	
	マンホール救助器具（ロールグリス）		1		1	
	マット型空気ジャッキ式（エアマイティ）		1		2	
切断用器具	大型油圧カッター		2		1	
	エンジンカッター		2		1	
	ガス溶断機（アークエアー）		1		1	
	ガソリン溶断機（パーニングカッター）		1		1	
	チェーンソー		2		1	
	鉄線カッター		2		1	
	空気鋸		1		2	
	空気切断機		1		2	
破壊用器具	万能斧（RCバール・トップマントビ）		5		1	
	ハンマー		1		1	
	携帯用コンクリート破壊器具（ストライカー）		1		1	
	削岩機		1		2	
	ハンマドリル		1		2	
検知・測定用器具	可燃性ガス測定器（MSAアルティア5、GX-111）		2		1	
	放射線測定器		2		2	
呼吸保護用器具	空気呼吸器	本体	29		1	
		空気ポンベ	4.6	34	1	
			6.75	31	1	
	8.0		2	1		
	酸素呼吸器	本体	4		2	
		酸素ポンベ（1.87）	12		2	
送排風機		2		2		

分類	資機材名称		救助隊	工作車積載	政令別表	
隊員保護用器具	革手袋		8		1	
	耐電手袋		5		1	
	耐電衣		3		2	
	耐電ズボン		3		2	
	耐電長靴		3		2	
	特殊ヘルメット		3		2	
	安全帯		9		1	
	防塵メガネ		5		1	
	携帯警報器（レスキューコール）		5		1	
	防毒マスク		6		1	
	陽圧式化学防護服		6		1	
	耐熱服		3		1	
	放射線防護服（ポケット線量計含む）		6		1	
水難救助用器具	ウェットスーツ		4		1	
	救命胴衣		6		1	
	水中投光器		2		1	
	救命浮環		4		1	
	救命ボート		3		1	
	船外機		3		1	
	水中テレビカメラ		1		1	
山岳救助用器具	登山器具一式		4		1	
	バスケット担架		2		1	
検索用器具	簡易画像探索機		1		1	
その他の救助用器具	投光器一式	発電機	3		2	
		投光器	4		1	
		三脚	4		1	
		コードリール	5		1	
	携帯投光器		4		1	
	携帯拡声器		2		1	
	携帯無線機		2		1	
	応急処置用セット		1		1	
	車両移動器具（ゴージャック）		1		1	
	緩降機		2		2	
	その他の携帯救助器具	鉋		1		1
		鎌		2		1
		鋸		1		1
		剣スコップ		2		1
		角スコップ		2		1
		大斧		1		1
		つるはし		1		1
		掛矢		1		1
		とび口		2		1
バール大		2		1		
バール小		2		1		
ロープ登降機（ユマール）		3		2		

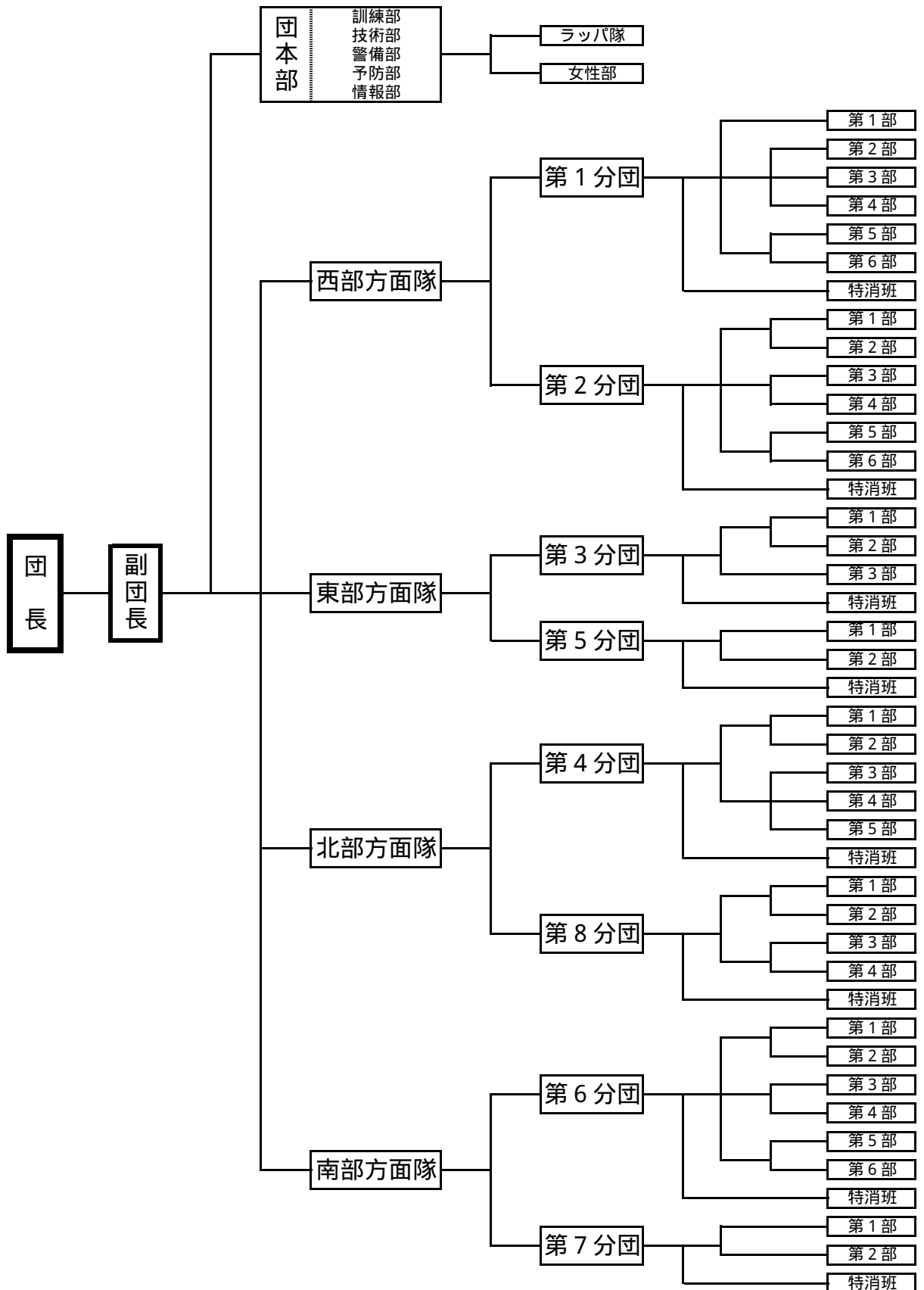
政令別表を基に、災害活動用として救助隊が管理する資機材を掲載したものの、空欄については、資器材庫にて保管。

消防團關係

1 消防団組織図

小千谷市消防団

平成23.4.1 現在



2 歴代消防団長

平成23.4.1 現在

区分	氏名	在任期間	備考	
小千谷市	初	長井 与兵衛	S 14. 4. 1 ~ S 15. 8. 8	小千谷町警防団長
	2	五十嵐 原 治	S 15. 11. 20 ~ S 17. 12. 25	〃
	3	長谷川 長 松	S 17. 12. 26 ~ S 20. 9. 15	〃
	4	中 島 福 治	S 21. 5. 16 ~ S 22. 8. 24	
	5	濁 川 勇 蔵	S 22. 8. 25 ~ S 30. 5. 13	
	6	山 谷 久 六	S 30. 5. 23 ~ S 36. 7. 7	
	7	星 野 利 祐	S 36. 7. 8 ~ S 47. 4. 30	
	8	風 間 三太郎	S 47. 5. 1 ~ S 54. 4. 1	
	9	吉 岡 昭 和	S 54. 4. 2 ~ S 62. 4. 1	
	10	石 田 英一郎	S 62. 4. 2 ~ S 62. 9. 3	
	11	岡 村 寅 雄	S 62. 10. 1 ~ H 5. 3. 31	
	12	山 岸 俊 夫	H 5. 4. 1 ~ H 9. 3. 31	
	13	岩 淵 賢 次	H 9. 4. 1 ~ H 15. 3. 31	
	14	大 平 和 芳	H 15. 4. 1 ~ H 19. 3. 31	
	15	金 子 正 男	H 19. 4. 1 ~ H 23. 3. 31	
	16	本 田 剛	H 23. 4. 1 ~ 現在に至る	

3 消防団の編成

平成23.4.1 現在

市	区分	団 数	方面隊数	分 団 数	部 数
小千谷市		1	4	8	34

4 消防団員の数

平成23.4.1 現在

市	区 分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計	
		小千谷市	定 員	1	3	20	30	60	230	466
		現 員	1	2	18	21	53	197	423	715
		うち女性	-	-	-	-	1	1	6	8

5 消防団員の階級別報酬

平成23.4.1 現在
(単位：円)

市	区 分	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
小千谷市		95,500	66,000	47,000	34,500	29,500	22,500	19,500

6 消防団員の費用弁償

平成23.4.1 現在
(単位：円)

市	区 分	災 害 又 は 警 戒 出 動			演習訓練等
小千谷市	1 回 当 り の 出 動 手 当	4時間以内	4時間を超え 6時間迄	6時間を超え 8時間迄	2,000
		2,000	2,500	3,000	

7 消防車両・小型動力ポンプ配置一覧

小千谷市消防団

(1) 消防車両

平成23.4.1 現在

所 分団	属 部	配置先	車両種別	車両登録 年 月	ポンプ メーカー	ポンプ 級 別	ポンプ 導入年月
1	1	上ノ山	救助資機材搭型積載車	H22. 8	シバウラ	B - 3	H16. 2
	2	船岡	消防ポンプ自動車	H12. 7	モリタ	A - 2	H12. 7
	3	山本	特装車	H 6. 11	トーハツ	B - 3	H 6. 12
	4	上片貝	軽積載車	H20. 11	トーハツ	B - 3	H20. 11
	5	打越	積載車	H 5. 12	トーハツ	B - 3	H 5. 12
		四ツ子(高畑)	軽積載車	H15. 3	トーハツ	B - 3	H 5. 12
6	二俣	積載車	H11. 11	トーハツ	B - 3	H11. 12	
2	1	土川	消防ポンプ自動車	H 5. 12	モリタ	A - 2	H 5. 12
	2	時水	積載車	H 6. 11	トーハツ	B - 3	H 6. 12
	3	千谷川	積載車	H13. 12	トーハツ	B - 3	H13. 12
	4	平沢	特装車	H10. 12	トーハツ	B - 3	H10. 12
	5	桜町	消防ポンプ自動車	H 6. 9	日本機械工業	A - 2	H 6. 9
	6	山谷	軽積載車	H18. 9	ラビット	B - 3	H18. 9
3	1	東栄	消防ポンプ自動車	H 7. 11	モリタ	A - 2	H 7. 11
			軽積載車型	H21. 10	シバウラ	B - 3	H21. 10
	2	稗生	積載車	H 8. 12	トーハツ	B - 3	H 8. 12
3	木津	積載車	H 4. 12	トーハツ	B - 3	H 4. 12	
4	1	千谷	積載車	H21. 10	トーハツ	B - 3	H15. 3
	2	小粟田	特装車	H 9. 12	トーハツ	B - 3	H 9. 12
	3	三仏生	積載車	H 8. 12	トーハツ	B - 3	H15. 3
	4	五辺	消防ポンプ自動車	H 5. 8	日本機械工業	A - 2	H 5. 8
	5	高梨	軽積載車	H16. 11	トーハツ	B - 3	H 4. 12
5	1	浦柄	積載車	H 6. 11	トーハツ	B - 3	H 6. 12
	2	岩間木	積載車	H 5. 12	トーハツ	B - 3	H 5. 12
	2	塩谷	軽積載車	H20. 11	トーハツ	B - 3	H20. 11
6	1	千三	消防ポンプ自動車	H 7. 11	モリタ	A - 2	H 7. 11
	2	本村	積載車	H11. 11	トーハツ	B - 3	H11. 12
	3	芋坂	特装車	H 9. 12	トーハツ	B - 3	H 9. 12
	4	塩殿	積載車	H12. 4	トーハツ	B - 3	H12. 4
	5	池ヶ原	特装車	H12. 4	トーハツ	B - 3	H12. 4
	6	若栃	特装車	H 8. 12	トーハツ	B - 3	H 8. 12
市之沢		軽積載車	H16. 11	トーハツ	B - 3	H 6. 12	
7	1	川井新田	積載車	H 5. 12	トーハツ	B - 3	H 5. 12
		内ヶ巻	軽積載車	H19. 9	シバウラ	B - 3	H19. 9
		冬井(戸屋・冬井・大崩)	軽積載車	H15. 3	トーハツ	B - 3	H 7. 11
	2	町中	消防ポンプ自動車	H 8. 3	モリタ	A - 2	H 8. 3
	市ノ口	軽積載車	H22. 11	トーハツ	B - 3	H 1. 8	
8	1	屋敷(一之町)	積載車	H 4. 12	シバウラ	B - 3	H16. 2
		屋敷(二之町)	消防ポンプ自動車	H 6. 12	モリタ	A - 2	H 6. 12
	2	鴻巣	軽積載車	H16. 2	トーハツ	B - 3	H 8. 12
	3	屋敷(三之町)	積載車	H 3. 12	トーハツ	B - 3	H 3. 12
4	池津	軽積載車	H16. 2	トーハツ	B - 3	H 2. 10	
団本部		消防本部	司令車	H18. 2			

軽トラック型積載車

(2) 小型動力ポンプ

平成23.4.1 現在

所 分団	属 部	配置先	メーカー	出力	級 別	導入年月
5	1	寺 沢	トーハツ	11.5	B - 3	H 11. 12
		中 山	トーハツ	11.5	B - 3	H 7. 11
	2	蘭 木	トーハツ	11.5	B - 3	H 5. 12
6	6	細 島	トーハツ	11.5	B - 3	H 2. 10

8 消防団無線設備

(1) 基地局

平成23.4.1 現在

呼出名称	出力(W)	設置場所	備考
おぢやしょうぼうだんほんぶ	10	消防本部・署	全国消防団波

(2) 陸上移動局

平成23.4.1 現在

呼出名称		団波	市波	防波	設置場所	出力(W)	製造年
おぢやしょうぼうだん 1					団本部指令車	10	H18
おぢやしょうぼうだん 11					1-1(上ノ山)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 12					1-2(船岡P)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 13					1-3(山本)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 14					1-4(上片貝)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 15					1-5(打越)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 16					1-5(高畑)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 17					1-6(二俣)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 21					2-1(土川P)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 22					2-2(時水)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 23					2-3(千谷川)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 24					2-4(平沢)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 25					2-5(桜町P)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 26					2-6(山谷)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 31					3-1(東栄P)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 32					3-2(蔭生)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 33					3-3(木津)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 34					3-1(東栄)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 41					4-1(千谷)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 42					4-2(小栗田)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 43					4-3(三仏生)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 44					4-4(五辺P)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 45					4-5(高梨)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 51					5-1(浦柄)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 52					5-2(岩間木)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 53					5-2(塩谷)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 61					6-1(干三P)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 62					6-2(本村)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 63					6-3(芋坂)	10	H18

呼出名称	団波	市波	防波	設置場所	出力(W)	製造年
おぢやしょうぼうだん 64				6-4(塩 殿)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 65				6-5(池ヶ原)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 66				6-6(市之沢)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 67				6-6(若 栃)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 71				7-1(川 井)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 72				7-1(内ヶ巻)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 73				7-1(冬 井)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 74				指令室管理	10	H18
おぢやしょうぼうだん 75				7-2(町中P)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 76				7-2(市ノ口)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 81				8-1(片貝P)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 82				8-1(片 貝)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 83				8-2(鴻 巣)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 84				8-3(片 貝)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 85				8-4(池 津)	10	H18
おぢやしょうぼうだん 201				団 長	5	H 9
おぢやしょうぼうだん 202				副 団 長	5	H 9
おぢやしょうぼうだん 203				副 団 長	5	H 9
おぢやしょうぼうだん 204				指令室管理	5	H 9
おぢやしょうぼうだん 205				分 団 長	5	H 9
おぢやしょうぼうだん 206				分 団 長	5	H 9
おぢやしょうぼうだん 207				分 団 長	5	H11
おぢやしょうぼうだん 208				分 団 長	5	H11
おぢやしょうぼうだん 209				分 団 長	5	H11
おぢやしょうぼうだん 210				分 団 長	5	H12
おぢやしょうぼうだん 211				副分団長	5	H12
おぢやしょうぼうだん 212				副分団長	5	H12
おぢやしょうぼうだん 213				副分団長	5	H12
おぢやしょうぼうだん 214				副分団長	5	H12
おぢやしょうぼうだん 215				副団長管理	5	H12

団波：全国消防団波

市波：市単独波

防波：防災相互波

車載無線機	10W	44台
携帯無線機	5W	15台

9 消防器具置場等施設の数

平成23.4.1 現在

分 団 施 設	1	2	3	4	5	6	7	8	計
消防器具置場	7	6	3	5	7	8	6	3	45
ホース乾燥柱	6 (6)	6 (6)	3 (3)	5 (5)	6 (6)	9 (8)	6 (6)	3 (3)	44 (43)
火の見櫓	3					2			5
モーターサイレン	7	7	4	6	7	14	8	3	56

1 消防器具置場欄は、地区を計上する。

2 ホース乾燥柱欄の()内は、モーターサイレンを取り付けたホース乾燥柱の数値を計上する。

3 モーターサイレン欄は、ホース乾燥柱等にモーターサイレンが取り付けられている場合にも計上する。

10 平成22年度中の主な工事等の状況

平成23.4.1 現在


工事番号	工 事 名			
消工第1号	旧消防器具置場解体撤去工事	1基	3 - 1	東 栄
消工第2号	無蓋水槽防護柵設置工事	1基	6 - 4	塩 殿
消工第3号	防火水槽撤去工事	1基	8 - 1	片 貝
消工第4号	自然圧消火栓撤去工事	1基	6 - 6	若 栃
消工第5号	ホース乾燥柱改良工事	1基	4 - 5	高 梨
消工第6号	サイレン操作盤移設工事	1基	5 - 2	塩 谷

次頁に続く

前項の続き

工事番号	工 事 名		
消修第1号	旧防火水槽沈下箇所 埋め戻し修繕工事	1基	1 - 1 上ノ山
消修第2号	防火水槽吸管投入口修繕工事	1基	1 - 2 船 岡
消修第3号	消防器具置場塗裝修繕工事	2棟	1 - 5 打 越 5 - 2 岩 間 木
消修第4号	防火水槽吸水管修繕工事	1基	2 - 3 千 谷 川
消修第5号	防火水槽吸水管修繕工事	1基	7 - 2 岩 沢
消修第6号	消防用水路水源修繕工事	1基	6 - 6 北 山
消修第7号	消防器具置場 躯体クラック修繕工事	1基	7 - 1 冬 井
消修第8号	消防器具置場 乗入れコンクリート修繕工事	1基	6 - 6 市ノ沢
消修第9号	消防器具置場屋根張替修繕工事	1棟	2 - 3 千 谷 川
消修第10号	消防器具置場塗裝修繕工事	1棟	8 - 4 池 津

工事番号	工 事 名		
建他(消)第1号	耐震性貯水槽(若葉2)設置工事	1基	2 - 1 若 葉



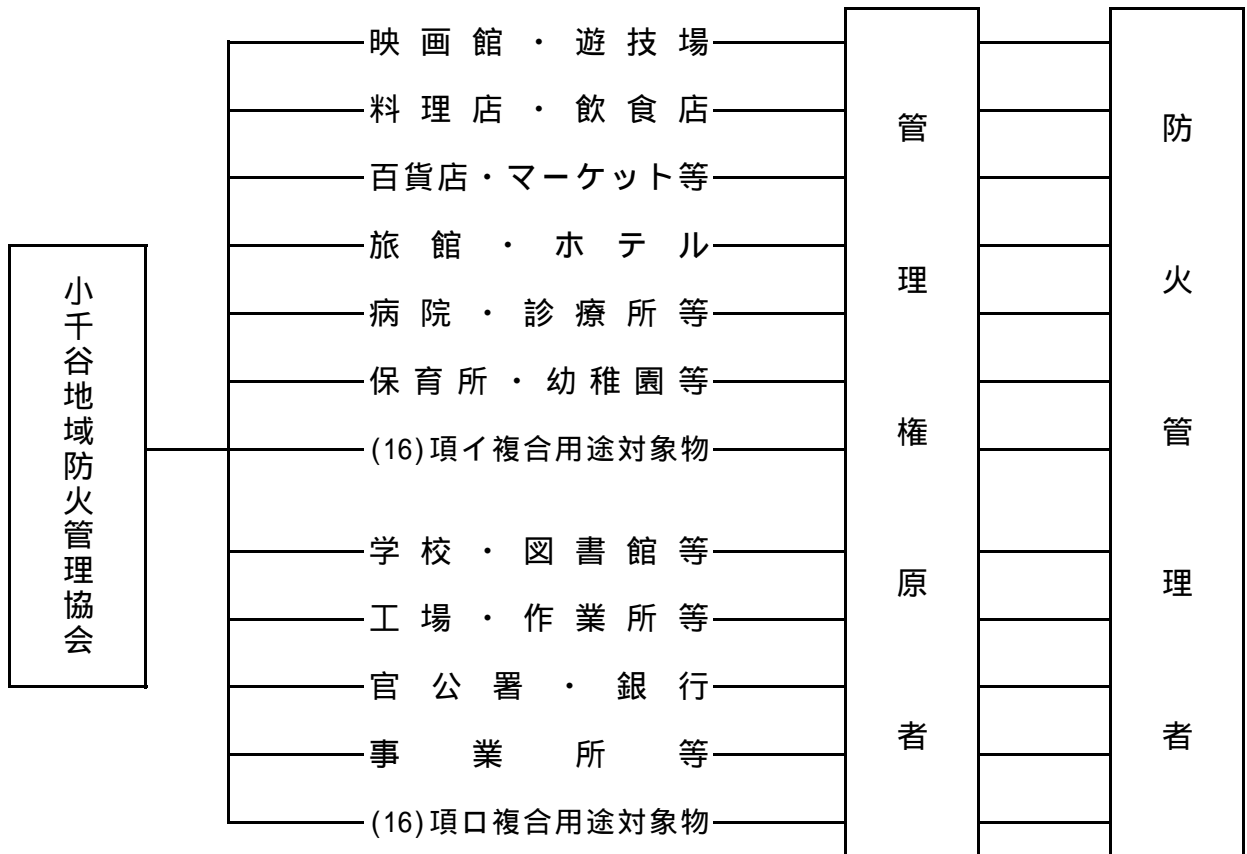
協力団体

1 小千谷地域防火管理協会

1 設 立

昭和40年 7月12日 ~ 昭和55年 3月31日 小千谷市防火管理協会
 昭和55年 4月 1日 ~ 現在に至る 小千谷地域防火管理協会

2 組織・機構



3 主たる事業

- (1) 消防機関と自衛消防隊との連携に関する事。
- (2) 関係法令等の周知徹底に関する事。
- (3) 防火思想の普及高揚に関する事。
- (4) 火災原因等防火情報の交換に関する事。
- (5) 消防訓練及び講習に関する事。
- (6) 防火管理者の教育に関する事。
- (7) 消防計画の研究に関する事。
- (8) 消防功労者の表彰に関する事。
- (9) その他、本会の目的達成に必要な事業

4 会員数 191事業所 (平成23年4月1日現在)

2 (財)新潟県危険物安全協会小千谷地区支会

1 設 立

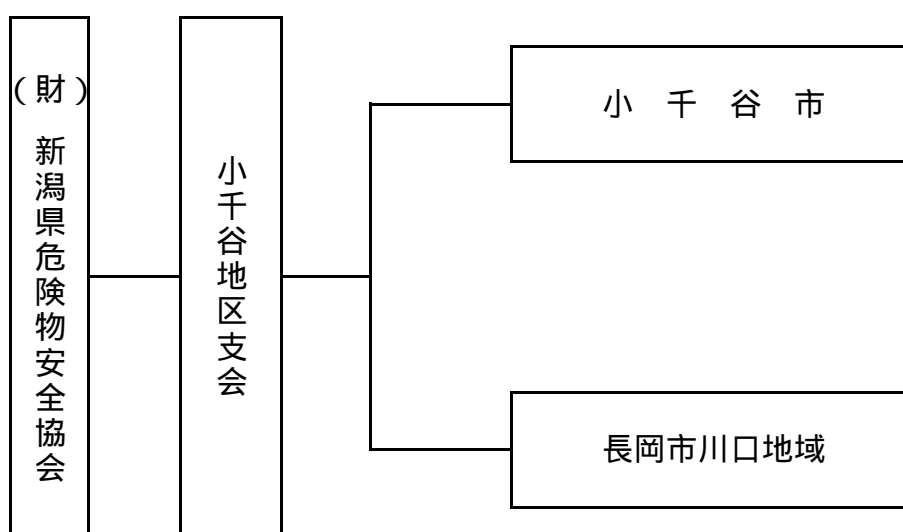
昭和35年 6月 6日 ~ 平成18年 3月31日

(財)新潟県危険物安全協会北魚沼地区支会

平成18年 4月 1日 ~ 現在に至る

(財)新潟県危険物安全協会小千谷地区支会

2 組織・機構



3 主たる事業

- (1) 危険物の災害予防思想の普及徹底に関すること。
- (2) 危険物の安全な取扱い及び維持管理の研究に関すること。
- (3) 危険物の取扱いに関する各種講習会の実施に関すること。
- (4) 機関誌及び資料の発行に関すること。
- (5) 優良会員等の表彰に関すること。
- (6) その他目標達成に必要な事項

4 会員数

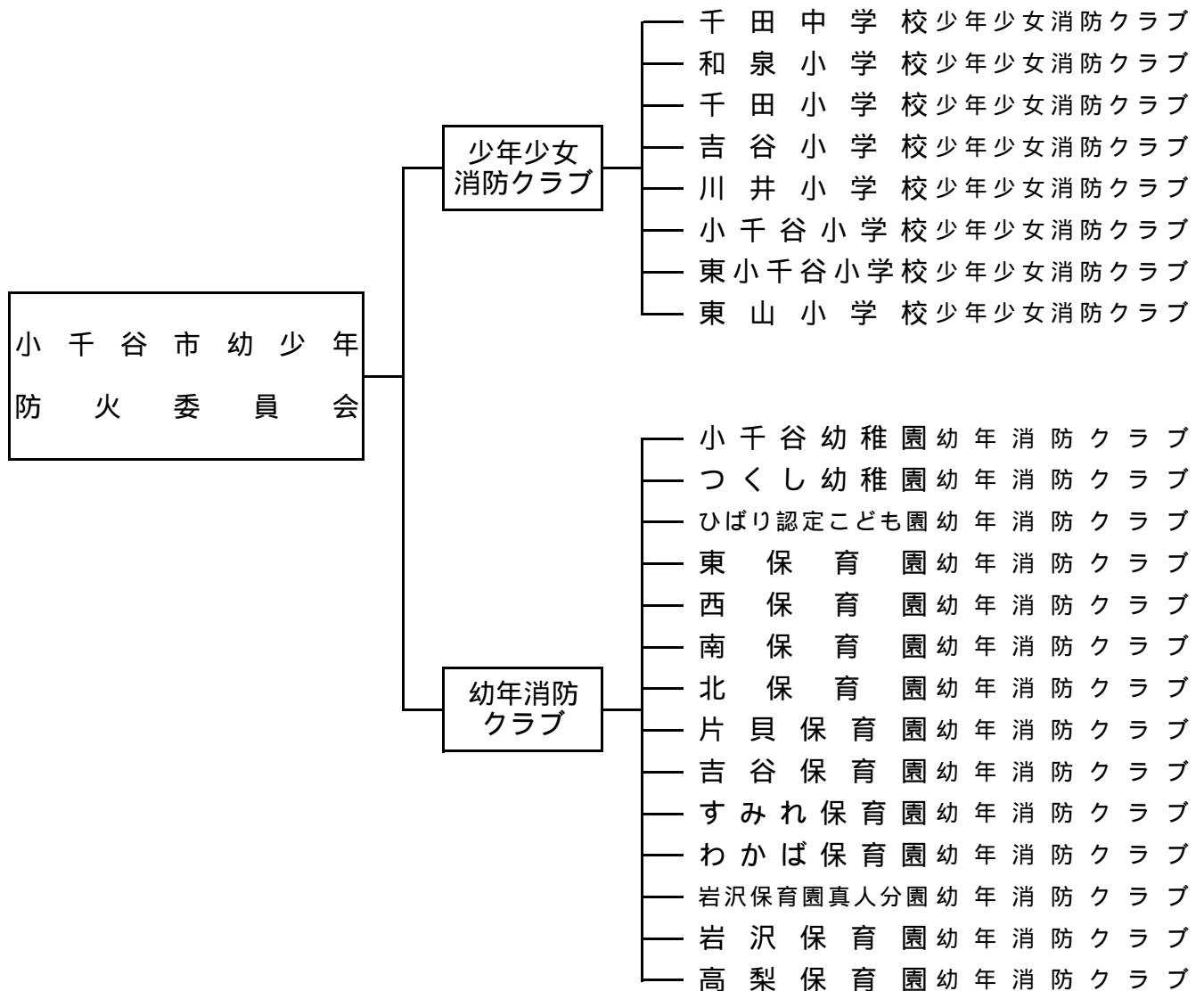
89事業所(平成23年3月31日現在)

3 小千谷市幼少年防火委員会

1 経過

昭和56年10月13日	小千谷地域少年消防クラブ、小千谷地域婦人防火クラブ設立
昭和57年7月15日	上記2クラブを統合し、小千谷地域少年婦人防火委員会設立
昭和59年5月16日	小千谷地域幼年消防クラブ設立
平成10年5月15日	小千谷地域幼年消防クラブを統合し、小千谷地域幼少年婦人防火委員会へ名称変更
平成14年9月27日	会則を変更し、小千谷地域幼少年婦人防火委員会のクラブ組織一本化
平成22年8月4日	会則を一部改正し、小千谷市幼少年防火委員会に組織を変更

2 組織・機構



3 主たる事業

- ・ 小千谷市幼少年防火委員会
 - ア 防火防災知識の普及徹底
 - イ 防火防災のための研修及び訓練
 - ウ 各クラブ等関係組織相互間の連絡・調整
 - エ 事業所研修
 - オ 消防フェスティバルの参加・協力
 - カ その他本会の目的達成に必要な事項

- ・ 小千谷市少年少女消防クラブ
 - ア クラブの運営指導の研究に関する事項
 - イ クラブの育成指導に関する事項
 - ウ クラブの情報交換に関する事項
 - エ 外部との連絡に関する事項
 - オ その他本会の目的達成に必要な事項

- ・ 小千谷市幼年消防クラブ
 - ア クラブの運営指導の研究に関する事項
 - イ クラブの育成指導に関する事項
 - ウ クラブの情報交換に関する事項
 - エ 外部との連絡に関する事項
 - オ その他本会の目的達成に必要な事項

4 会員数 (平成23年4月1日現在)

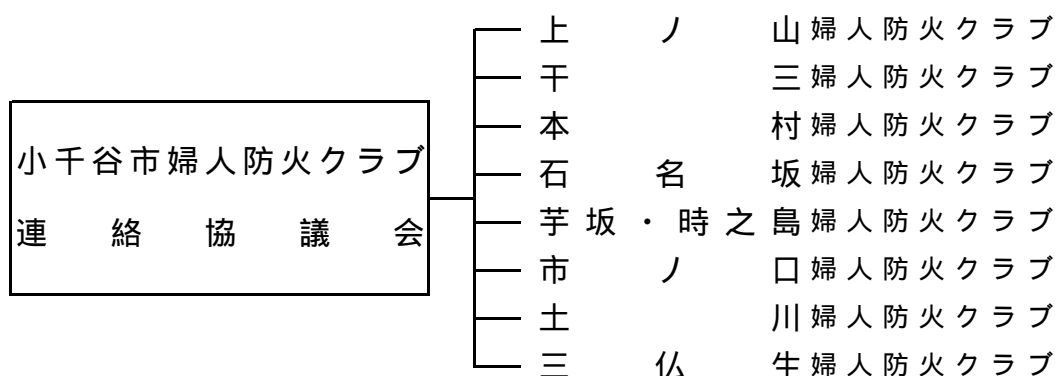
- ・ 小千谷市少年少女消防クラブ 1,331 名
- ・ 小千谷市幼年消防クラブ 487 名

4 小千谷市婦人防火クラブ連絡協議会

1 経過

昭和56年10月13日	小千谷地域少年消防クラブ、小千谷地域婦人防火クラブ設立
昭和57年7月15日	上記2クラブを統合し、小千谷地域少年婦人防火委員会設立
昭和59年5月16日	小千谷地域幼年消防クラブ設立
平成10年5月15日	小千谷地域幼年消防クラブを統合し、小千谷地域幼少年婦人防火委員会へ名称変更
平成14年9月27日	会則を変更し、小千谷地域幼少年婦人防火委員会のクラブ組織一本化
平成21年4月1日	小千谷市婦人防火クラブ連絡協議会設立
平成22年8月4日	会則の一部改正

2 組織・機構



3 主たる事業

- ア クラブの運営指導の研究に関する事項
- イ クラブの育成指導に関する事項
- ウ クラブの情報交換に関する事項
- エ クラブ等の未設置区域の解消及び組織の拡大・強化
- オ 外部との連絡に関する事項
- カ その他本会の目的達成に必要な事項

4) 会員数 (平成23年4月1日現在)

- ・ 小千谷市婦人防火クラブ連絡協議会 142名

消 防 年 報

(平成22年版)

発行 新潟県小千谷市消防本部

〒947-0028

新潟県小千谷市城内3丁目1番9号

TEL (0258) 81-0119

FAX (0258) 82-0209